

点検・整備チェックリスト

(販売店にチェック・記入を依頼してください。
定期点検・整備の料金は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。)

✓: 異常無し A: 調整、注油 △: 修理 ×: 交換 C: 掃除その他 —: 装着されていない部品

点検の箇所	点検項目	販売時	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
			2か月	6か月	1年	1年半	2年	2年半	3年
フレーム・フロントフォーク	変形、折損、ヒビ割れは無い								
	ヘッド、ハンガー小物にガタや摩耗は無い								
ハンドル	固定は確実か、高さ、ハンドルの挿入量は適正か								
	変形、折損、軽く回転するか								
どろよけ	変形、取り付けは適正か								
キャリヤ	変形、ガタ、折損は無い								
車輪	固定は確実か、フレーム、フロントフォークに接触していない								
	タイヤ								
リム	変形、振れは無い								
スポーク	緩み、折れ曲がり、切損は無い								
ハブ	ハブナットの緩み、玉押しのガタは無い								
ギヤクランク	ギヤ板の振れ、ヒビ入り(軽合金)、曲がり、ガタは無い								
	固定は確実か、取り付け部(クランク側)にバリは無い								
ペダル	軸の回転は正常か、変形、カシメ、ねじの緩み、ガタ、折損は無い								
	利き具合は適正か								
ブレーキ	レバーの引き代に余裕はあるか、ワイヤ類にさびやほつれは無い								
	ブレーキゴム類(ブレーキブロック、パッド、ライニング)の減りは無い								
変速機	作動は確実か								
ベルト	ヒビ入り、歯欠け、折損は無い、張りは適正か								
チェーン	油切れ、たるみは無い、ギヤとの噛み合わせは適正か								
サドル	固定は確実か、高さ、シートポストの挿入量は適正か								
	取り付け位置、ガタ、損傷は無い								
ライト	点灯、照射は正常か、破損は無い、コード切れは無い								
リフレクター	汚れ、ガタ、破損は無い、点灯(テールランプ付)は正常								
スタンド	作動は正常か、ガタ、変形、折損は無い								
ベル・ブザー	作動は正常か、変形、緩みは無い、よく鳴るか								
錠	作動は正常か、変形、緩みは無い								
その他	各部のねじの緩み、損傷は無い								
注油箇所	チェーン、ワイヤ、変速機、ブレーキレバー、スタンドの支点、バッテリーロックキー穴、錠前キー穴								
実施店	実施者氏名	実施日	年	年	年	年	年	年	年
保証書に印字されている品番および車体番号を転記してください	品番	車体番号	確認印	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ

Panasonic®

取扱説明書 電動アシスト自転車

ビビ・DX ビビスタイル

品番 BE-ELD432
BE-ELD632
BE-ELDS632



BE-ELD632

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- ご使用まえに「安全上のご注意」(4～17・46・52・54・59 ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品をほかの人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください。

お願い

- この自転車は、散歩、買い物などの日常生活用として設計されています。新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。
- この自転車は、日本国内以外の交通法規には適合していませんので、日本国内以外でご使用にならないでください。
- 必ず、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。(法令で義務付けられています。)

お知らせ

- 本書に記載のイラストは、イメージ図を使用していますので、形状やデザインが、異なる場合があります。
- 本書は、ELD・ELDSの共通の取扱説明書ですので、イラストはBE-ELD632を使用しております。

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理! エンジョイポイントをためてプレゼントに応募!

PC <http://club.panasonic.jp/>
携帯 <http://mobile.club.panasonic.jp/>



※ご愛用者登録には、CLUB Panasonic 会員への登録が必要です。
※登録時は、商品の品番を事前にご確認ください。
※このサービスは WEB 限定のサービスです。

パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号

保証書別添付



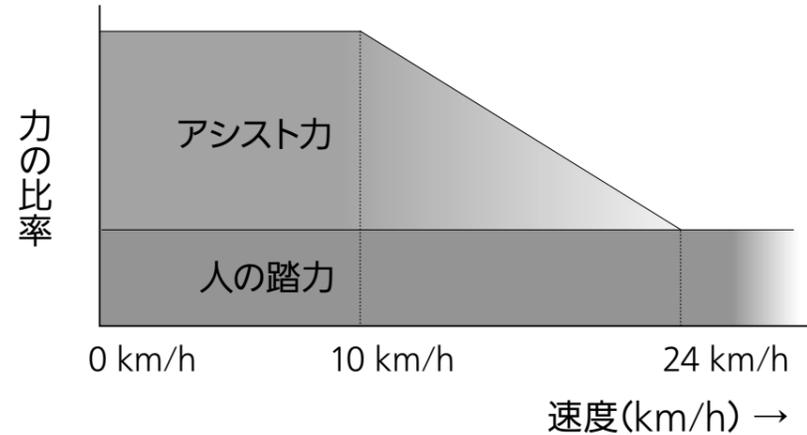
自転車のルールを守って、安全走行

- 止まって確認、らくらく発進
- ライトをつけて、らくらく走行

◆この商品の特長

①アシスト力の働きで楽に乗れます。

- ペダルを一定以上の力で踏むとアシスト力が働き、自転車よりも軽い踏力で走行できます。
 ☆下のグラフは「人の踏力」と「電動のアシスト力」との関係イメージを表しています。
- ・アシスト力とアシストが働く速度範囲は、アシストモード、変速位置により変化します。
 - ・乗る人の踏力、道路の状況、乗員と積載荷物を含む総質量の条件により楽になる度合に差が生じます。
 - ・アシスト率(人の踏力と電動のアシスト力との比率)は約 10 km/h から徐々に下がっていきます。



②クランク回転センサー搭載で、さらになめらかな走行感と安全性を向上させました。

ペダルの踏力を感知するトルクセンサーと、走行スピードを感知するホイールセンサーに加え、クランクの回転を感知するクランク回転センサーを搭載しました。3つのセンサーが同時に働き、アシスト力を調整することでさらになめらかな走行感と安全性を向上させました。

③エコナビ機能で、さらに走行距離が伸びます。

走行状態をセンサーで感知し、自動でムダを見つけて省エネ走行する「エコナビ」機能です。走行条件により、最適なアシスト力を自動的にコントロールし、省エネ走行を実現しています。消費電力が少ない走行時、エコナビランプを点灯してエコ運転走行をお知らせします。



④バッテリーが切れても、普通の自転車として走行できます。

アシスト量の調整に必要な「こぐ力」を検知する際、抵抗が加わらないセンサーで、バッテリーが切れても、抵抗感無く、一般的な自転車と同じような快適さです。

⑤アシストモード切り替え機能が付いています。

手元スイッチ(エコナビ液晶スイッチ 4)のボタン操作で、長距離走行ができるロングモード、アシスト力を自動でコントロールするオートマチックモード、楽に走行できるパワーモードが選べます。

⑥リチウムイオンバッテリーを使用しています。

メモリー効果^{*}の心配が無く、軽量で安全性に優れたリチウムイオンバッテリーを搭載しています。
 ※メモリー効果とは、継ぎ足し充電を何度も繰り返すことで見かけ上のバッテリーの性能が低下する状態のことです。

お知らせ

- 次のようなときはアシスト力は働きません。
 - ・速度が 24 km/h 以上のとき。
 - ・ペダルを踏む力が弱いとき、または、ペダルの回転を止めているとき。
 - ・バッテリーの残量がなくなったとき。
 - ・オートオフシステムが働いたとき。(電源が入った状態で10分以上車両を放置したとき、自動的に電源が切れます。再度走行するときは、電源を入れてください。)

もくじ

はじめに

- 安全上のご注意 4
- 使用上のお願い 18
- 各部のなまえ 20

充電のしかた

- 充電しましょう 24

乗るまえに

- 乗るまえの点検と調整 27
- バッテリーの残量 38
- 走行できる距離の目安 40

乗りかた

- 手元スイッチの操作方法 42
- さあ、乗りましょう！ 44
- 荷物やお子さまを乗せるとき 47

乗ったあと

- 乗ったあとの駐輪・施錠 48

必要なとき

- バッテリーについて 50
- お手入れ/注油について 52
- 定期点検 54
- 自転車安全基準/ BAA マーク/点検整備済 TS マークのご紹介 55
- 故障かな? 56
- 運搬/保管/廃棄 59
- 盗難補償 60
- オプション **別売部品** 61
- 仕様 62
- アフターサービス 63

はじめに

充電のしかた

乗るまえに

乗りかた

乗ったあと

必要なとき

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

 気をつけていただく内容です。

危険

バッテリーについて

■(+)と(-)を金属などで接触させない*



⇒ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しないでください。

■火への投入、加熱をしない*

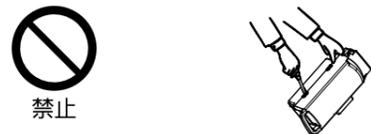
■火のそばなど高温の場所で充電・使用・放置しない*



■当社電動アシスト自転車専用の充電式バッテリーです。この機器以外に使用しない*



■クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない*



■専用充電器を使用する*

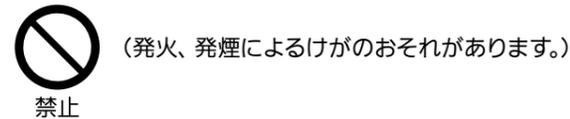


(※発熱、発火、破裂によるけがの原因となります。)

危険

バッテリーについて

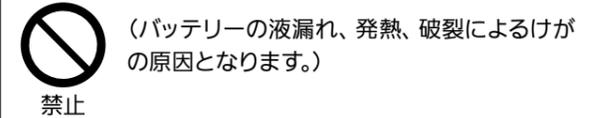
■再生・リサイクルバッテリーは使用しない



充電器について

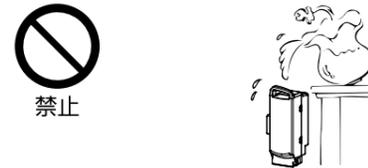
■当社電動アシスト自転車バッテリーの充電以外の使用は絶対しない

■電池の(+)端子と(-)端子を逆にして充電しない



バッテリーについて

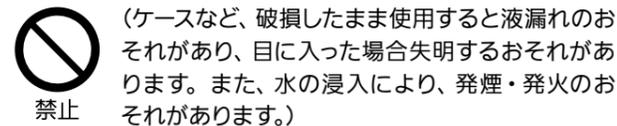
■水を入れたり、水中に投下したりしない



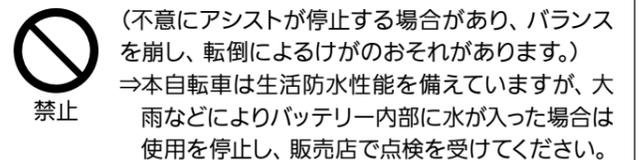
(端子部から水が入るとショートし、発熱、発火破裂の原因となります。)

⇒バッテリー内部に明らかに水が浸入した場合は、使用を停止し、販売店で点検を受けてください。

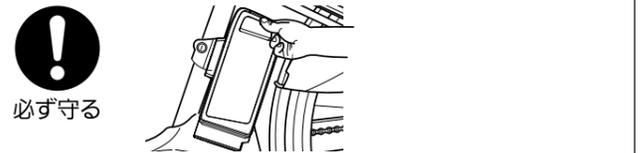
■傷ついたまま使用しない



■大雨などで自転車本体(バッテリー部)が水につかった場合、使用しない



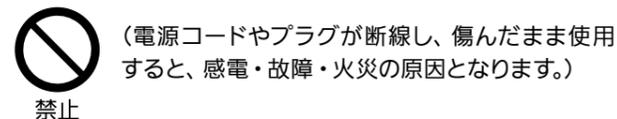
■確実に自転車に装着されているか確認する



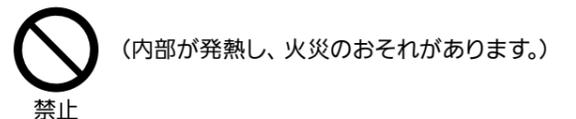
(走行中にバッテリーが脱落し、転倒によるけがのおそれがあります。)
⇒一度手前に引いて外れないか確認してください。

充電器について

■電源コードを充電器本体に巻きつけて保管しない



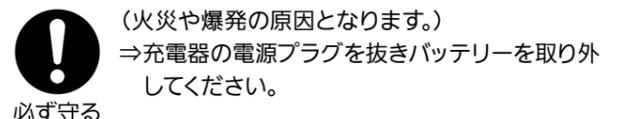
■充電中はカバーをしたり、上に物を置いたりしない



■充電中は引火のおそれがあるものを近づけない



■充電中に次の異常を感じたら充電を中止する(異音・異臭・煙の発生など)



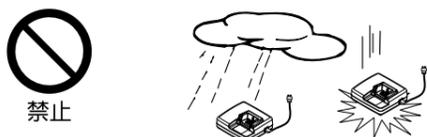
安全上のご注意(つづき)

警告

充電器について

■以下のようなことはしない*

- 衝撃を与えること ●落下 ●水ぬれ
- 高温な場所(浴室・洗面所や水がかかる場所)での使用



⇒水にぬれた場合には内部基板に水が浸入している場合がありますので使用しないでください。

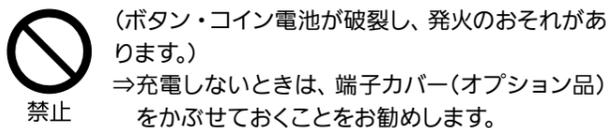
■充電端子を金属でショートさせない*



(※発熱、発火、感電のおそれがあります。)

⇒充電しないときは、端子カバー(オプション品)をかぶせておくことをお勧めします。

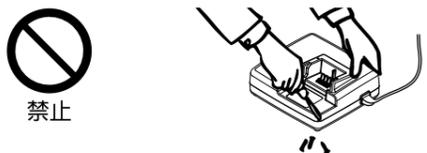
■充電端子部にボタン・コイン電池を接触させない



(ボタン・コイン電池が破裂し、発火のおそれがあります。)

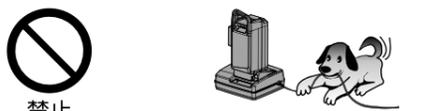
⇒充電しないときは、端子カバー(オプション品)をかぶせておくことをお勧めします。

■分解、改造は絶対しない



(充電時、バッテリーの液漏れ、発熱による火災のおそれがあります。)

■幼児やペットが触れる所に放置しない



(幼児やペットがコードを傷め、感電・故障・火災の原因となります。)

■電源コードや電源プラグ・ケースを破損するようにはしない(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など)



(傷んだまま使用すると、感電・故障・火災の原因となります。)

⇒電源コードなど単体での修理・交換はできません。充電器の電源コードなどが傷んだ場合、販売店にご相談の上、充電器本体をご注文ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、家庭用の交流 100 V 以外での使用はしない



(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。)

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

(感電のおそれがあります。)

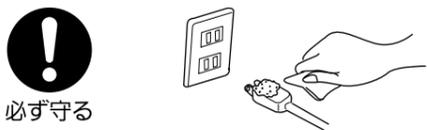
■電源プラグは根元まで確実に差し込む



必ず守る

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。)

■充電端子や電源プラグのほこりなどは定期的にとる



必ず守る

(ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。)

⇒電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

警告

自転車本体について

■改造や分解はしない



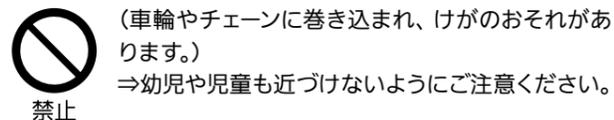
(部品の破損や、ブレーキが利かなくなって転倒や衝突によるけがのおそれがあります。)

■ハブステップなどの突出物を装着しない



(歩行者などに危害を及ぼすおそれがあります。)

■回転部(車輪・チェーンなど)に手や足を近づけない



(車輪やチェーンに巻き込まれ、けがのおそれがあります。)

⇒幼児や児童も近づけないようご注意ください。

■サドルやハンドルは「はめ合わせ限界標識」が見える状態で乗らない



(シートポストやハンドルステムの折れにより、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。)

⇒ハンドルの高さ調整は、販売店にご相談ください。

■リムやブレーキブロック(ゴム部)に注油しない

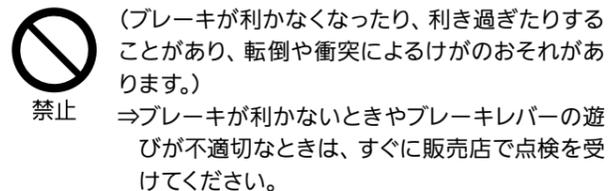


(ブレーキが利かなくなり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。)

ブレーキについて

■ブレーキレバーの遊びが大きいまや、小さいままで走行しない

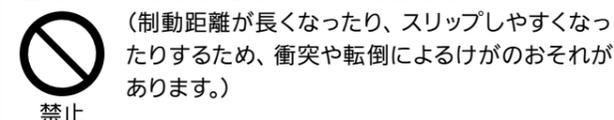
■音鳴りがする場合は使用しない



(ブレーキが利かなくなったり、利き過ぎたりすることがあり、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。)

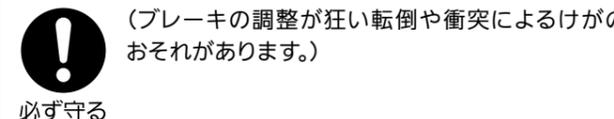
⇒ブレーキが利かないときやブレーキレバーの遊びが不適切なときは、すぐに販売店で点検を受けてください。

■雨天時や下り坂ではスピードを出さない



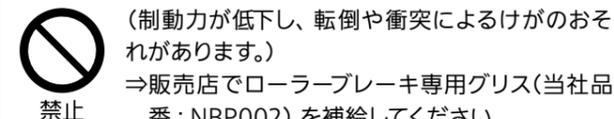
(制動距離が長くなったり、スリップしやすくなったりするため、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。)

■前後ブレーキのロックナットは確実に締め付ける (31 ページ)



(ブレーキの調整が狂い転倒や衝突によるけがのおそれがあります。)

■ローラーブレーキグリスの補給には、ローラーブレーキ専用グリス以外は使用しない



(制動力が低下し、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。)

⇒販売店でローラーブレーキ専用グリス(当社品番: NBP002)を補給してください。

安全上のご注意(つづき)

警告

タイヤについて

■パンクしたまま走行しない

 (ハンドルがとられ、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。)
禁止

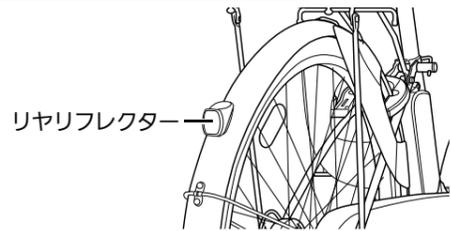
ハンドルについて

■ハンドルステムのハイトストッパーを外して、ハンドルステムを一番下まで下げない

 
禁止

固定が不完全になる場合があります、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

リヤリフレクターについて



■ボタン電池は次のような使いかたをしない

-  ●充電器などで充電しない
-  ●電池を火の中に投入しない
-  ●電池をショートさせない
-  ●電池の ⊕ ⊖ を逆にして使用しない

(使いかたを誤ると、電池が発熱・液漏れ・破裂によるけがのおそれがあります。)

■ボタン電池は乳幼児の手の届く所に置かない

 (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)
⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
禁止

前車輪旋回抑制機構について

■ハンドルの旋回抑制機構が解除(スムーズにハンドル操作ができる状態)されていることを確認してから乗る(☎ 36 ページ)

 (ハンドルの旋回が抑制されて、転倒によるけがのおそれがあります。)
⇒スタンドのバネが弱くなり、スタンドをはね上げてでもハンドルの旋回が抑制される場合は、ご使用を中止し、販売店にご相談ください。

バッテリーライトについて

■ライトの取り付けが緩んだまま、走行しない

 (前方を照らす角度が狂い、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。)
⇒乗るまえに点検してください。
禁止

■ライトの光を見続けられない

 (目を痛める原因となります。)
禁止

■夜間走行まえには必ずバッテリー残量を確認する

 (走行中アシストが切れた場合、ライトはしばらく点灯したあと消灯します。消灯後の乗車は衝突や転倒によるけがのおそれがあります。)
必ず守る
⇒夜間走行中、ライトが点滅状態や消灯状態になった場合、押して歩いてください。点滅状態や無灯火での夜間乗車は、法令違反になります。

チェーンについて

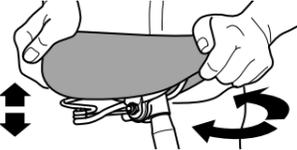
■たるんだまま走行しない

 (チェーンのたるみが大きくなると、走行時にチェーンが外れやすくなり、転倒や衝突によるけがの原因となります。)
禁止

警告

サドルについて

■調整後は必ずがたつきやずれが無い点検をする

 
必ず守る

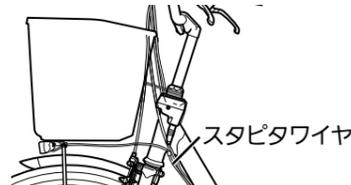
(シートポストが折れたり、固定が不安定になったりし、転倒によるけがのおそれがあります。)

乗るときは

■スタンドを立てた状態では、乗車をしない

 (ハンドルが固定されているため、転倒によるけがのおそれがあります。)
⇒スタンドを上げてから乗車してください。
禁止

■走行中にスタンドを下げたり、スタピタワイヤを引っ張らない

 
禁止

(ハンドルが固定され、転倒によるけがのおそれがあります。)

■けんけん乗り(けり乗り) しない

 
禁止

(転倒や接触事故によるけがのおそれがあります。)
⇒必ずサドルにまたがって、発進してください。

●けんけん乗り(けり乗り)とは、片足でペダルをこぎながら助走し、反動を付けてサドルにまたがる乗りかたです。

荷物を積むときは

 ■乗るまえにリヤキャリア締め付け部の固定を確認する
(荷物やチャイルドシートなどが落下し、けがをす
るおそれがあります。)
⇒リヤキャリアに緩み・ガタなどの異常が確認さ
れなかったときは、ご販売店にご相談ください。
必ず守る

■荷物を積むときは、リヤリフレクターが隠れないように積載する

 (事故によるけがのおそれがあります。)
必ず守る

■荷物が確実に固定されていることを確認する

 (ひもやベルトが後車輪に巻き込んで、転倒によるけがのおそれがあります。)
必ず守る

■はじめて荷物を積載するときは、安全の確保できる場所で、十分練習してから乗車する

 (バランスを崩したり、ブレーキの利きが悪くなることにより、転倒によるけがのおそれがあります。)
必ず守る

■積載条件(積載質量、積載物の大きさ)から外れる荷物を積まない(☎ 47 ページ)

 
禁止

(リヤキャリアやフレームが破損し、転倒によるけがのおそれがあります。)

■リヤキャリアを変造および改造はしない

 (部品が破損したり、外れたりし、転倒によるけがのおそれがあります。)
禁止

安全上のご注意(つづき)

警告

チャイルドシートを使用するときは

■乗車および走行中は、必ず幼児にヘルメット(SG規格適合の自転車用ヘルメットと同等以上のもの)を着用させる

！ (幼児がけがをするおそれがあります。) 必ず守る
⇒ヘルメットを着用させないでチャイルドシートに子供を乗せると、事故時に致命的な傷害を受ける確率が高くなりますが、着用させた場合は軽傷で済むことが報告されています。

■幼児を乗せたまま駐輪しない

！ (幼児が落下したり自転車が転倒したりしてけがをするおそれがあります。) 禁止

■適用年齢、体重制限、自転車のリヤキャリアに表示されている積載重量、身長制限、定員を守る

■乗車および走行中は、必ず幼児にグリップを持たせ寝ないように留意する

■乗車および走行中は、必ず幼児にシートベルトを着用させ、正しい姿勢を取らせる

！ 必ず守る
⇒乗せることができる幼児は、年齢1歳(12か月)以上ですが、特に後チャイルドシートは目が届きにくいので、幼児が急に立ちあがったりしても気づかないおそれがあります。必ず、シートベルトを装着してください。

■使用するときには、ねじなどの緩みが無く、取り付けが確実であることを確認し、破損、変形などしたままでの使用はしない

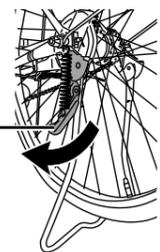
！ 禁止
(幼児が落下して、けがをするおそれがあります。)

■走行中は、幼児の足が車輪に巻き込まれないよう、ステップに足部が乗っているか確認する

！ 必ず守る
(幼児の足が車輪に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。)

■幼児は荷物などよりもあとに乗せ、最初に降ろす
■幼児の乗せ降ろしの際は、ハンドルをまっすぐにした状態で平坦な場所に駐輪し、必ず幼児を抱いて行う。また、スタンドロックがかかっているか確認して行う

！ 必ず守る
スタンドロック



■チャイルドシート無しで幼児を乗せない
■チャイルドシートに幼児を乗せているときは、短時間であっても、自転車から手を離さない

！ 禁止
(不安定で自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれがあります。)

■幼児を乗せるときは、安全の確保できる場所で十分練習してから乗車する

！ 必ず守る
(バランスを崩したり、ブレーキの利きが悪くなったりし、転倒によるけがのおそれがあります。)

■リヤキャリア取付式チャイルドシートを取り付けるときはドレスガードも取り付ける(取り付けてあるか確認する)

！ 必ず守る
ドレスガード
(車輪に手足を巻き込まれ、けがをするおそれがあります。)
⇒ドレスガードが装備されていない場合は、販売店にご相談ください。



警告

■急ブレーキ、急ハンドルは避ける

！ 必ず守る
(転倒や衝突によるけがのおそれがあります。)

■チャイルドシートに幼児を座らせている場合、可動部に触れさせない

！ 禁止
(車輪やギヤに手足を巻き込まれ、けがをするおそれがあります。)

■リヤキャリア取付式チャイルドシートを取り付けるときは乗車・運転に支障の無い範囲でできる限り前寄りに取り付ける

！ 必ず守る



(幼児を乗せた状態での押し歩き時、スタンド操作時などでは重心が後寄りとなり、後方へ転倒して幼児がけがをするおそれがあります。また、前寄りに付けすぎると、ペダリング時にチャイルドシートに足が当たり、バランスを崩して転倒によるけがのおそれがあります。)
⇒ハイバック式チャイルドシートでは通常タイプに比べ、特に重心が後寄りになりますので、ご注意ください。

■炎天下での駐輪時、チャイルドシートが熱くなっているか確認してから幼児を乗せる

！ 必ず守る
(幼児がやけどをするおそれがあります。)

■幼児を乗せるときは必ず靴をはかせる

！ 必ず守る
(幼児がけがをするおそれがあります。)

■幼児を乗せた状態での押し歩き、スタンド操作などの場合はハンドルを両手でしっかり押さえる

！ 必ず守る
(幼児を乗せた状態での押し歩き時、スタンド操作時などでは重心が後寄りとなり、後方へ転倒して幼児がけがをするおそれがあります。)

■幼児にチャイルドシートの足のせ部分を踏み台にして乗り降りさせない

■幼児に足のせ部および座面の上に立ちあがらせない
■幼児にチェーンケースやフレームを踏み台にして乗り降りさせない

！ 禁止
(足のせ部やチェーンケースが変形・破損したり自転車が倒れたりし、幼児がけがをするおそれがあります。)



安全上のご注意(つづき)

警告

自転車に乗るまえに

■乗るまえの点検は必ず行う*



必ず守る

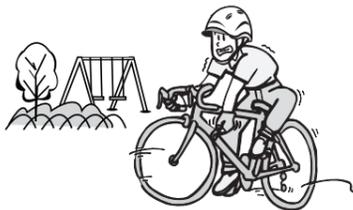


- ⇒前後ブレーキは引きずりが無く、ブレーキレバーの引きしろが確保されていることを確認してください。
- ⇒ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検してください。
- ⇒ハンドルは左右方向に60度以上回転するか確認してください。
- ⇒前後車輪が、確実に固定されているか点検してください。
- ⇒前後タイヤの空気圧が適正か点検してください。
- ⇒バッテリーが確実に装着されているか確認してください。
- ⇒ワイヤ類(ブレーキ、変速機、手元スイッチコード、バッテリーライトコードなど)にたるみ・さび・断線や損傷が無いか確認してください。
- ⇒わからないときは販売店に相談してください。
- ⇒未組立および未調整の自転車は使用しないでください。

■自転車に慣れるまでは、車が通らない平坦な場所(公園や広場など)で十分練習する*



必ず守る



- ⇒よく練習してから一般道路でお乗りください。
- ⇒電動アシスト自転車の場合、慣れるまでは「ロング」で走行してください。

(※守らないと衝突や転倒によるけがのおそれがあります。)

■自転車を身体に合わせる*



必ず守る



- ⇒正しい姿勢で乗車できるよう、上図のように販売店で調整してもらってください。
- ⇒操作して次のことを確認してください。
 - ①円滑なペダリングができる。
 - ②ブレーキや変速機が確実に操作できる。
 - ③ハンドル操作が容易にできる。

■安全な服装を着用する(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)*



必ず守る



- ⇒ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っ掛かりなどを防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。

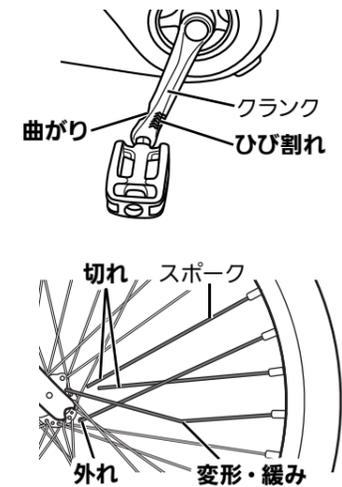
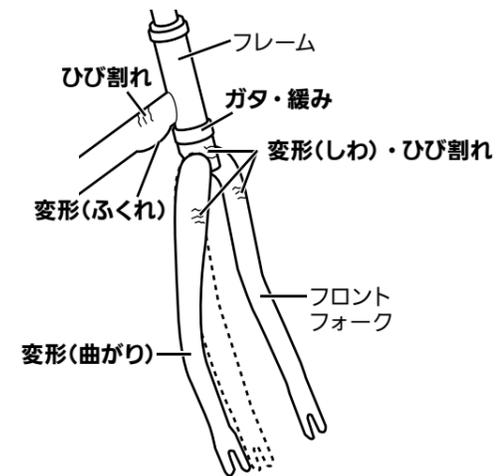
警告

自転車に乗るまえに

■各部にガタや緩みおよび、変形・ひび割れなどがあるときは乗らない



禁止



- (折れて転倒による、けがのおそれがあります。)
- ⇒ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
- ⇒フロントフォークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わったあとは、フロントフォークに変形やひび割れなどの異常が無いか点検してください。
- ⇒スポークが1本でも切れたまま使用を続けると、ほかのスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れ・変形・緩みのあるスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。
- ⇒ハンドルを締め付けてもガタ・緩みがあるときは、すぐに乗るのを止め、販売店で点検をしてください。

■次の様ときは外観上異常が無くても販売店で点検を受ける

- 車輪が変形するような衝突や段差の乗り上げ・落下をしたとき
- ペダルやクランクに強い衝撃が加わるような衝突や転倒をしたとき



必ず守る

(フレーム・フロントフォークの折損によるけがや、駆動ユニットの異常動作により転倒し、けがのおそれがあります。)

■調整後の締め付けを確認せずに乗らない(車輪の脱着やサドル・バッテリーライトなど)



禁止

(車輪などが外れて、転倒によるけがのおそれがあります。)

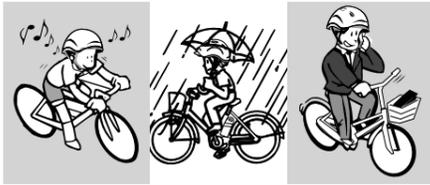
安全上のご注意(つづき)

警告

自転車の交通安全ルールについて

■ 次の様な運転は絶対にしない*

- ヘッドフォンを使用しながらの運転
- 飲酒運転
- 傘差し運転
- 2人乗り
- 並進
- 携帯電話を操作しながらの運転
- 信号無視



⇒ 6歳未満の子供をチャイルドシートに1人乗せる場合などを除き、2人乗りは禁止です。(幼児2人同乗用自転車を除く)

⇒ 「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。

■ 夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行する*



⇒ 夜の点滅状態や無灯火での運転は法令違反です。暗い所ではライトをつけて通行しましょう。

⇒ 見通しが悪くなり、また自動車から見えにくくなりますので危険です。前照灯がつかないときやリフレクターが破損したり汚れている場合は、押して歩いてください

■ 保護者は13歳未満の子供が乗車するときは必ずヘルメットを着用させる*



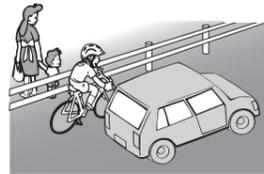
(※交通ルールを守らないと衝突や転倒によるけがのおそれがあります。)

■ 30kgを超える荷物を積載しない*



⇒ ただし、自転車や取扱説明書などへ積載条件の記載がある場合はそちらを守ってください。

■ 自転車は、車道を通行する*



⇒ 歩道と車道の区別のある所は自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。(路側帯がある場合でも、自転車の通行は道路の左側部分に設けられた路側帯に限定されます。)

⇒ 次の様な場合は、歩道通行ができます。

- 自転車歩道通行可の標識などで指定されている場合
- 運転者が児童、幼児、70歳以上の場合
- 車道や交通の状況から見てやむを得ない場合



⇒ そのときにも歩道は歩行者優先、車道寄りを徐行してください。

■ 交差点では一時停止と安全確認を行う*



⇒ 一時停止の標識を守り、広い道に出るときは、徐行と安全確認をしてください。

⇒ 信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。

自転車は、道路交通法上は「軽車両」となっています。違反すると、道路交通法(2015年6月1日改正)の罰則を受けることがあります。違反行為をして2回以上摘発されると、指定された期間内に講習を受ける必要があります。受講命令に従わなかった場合5万円以下の罰金が科せられます。

警告

交通事故を防ぐために

車の横を走るときに

■ 開くドアや人の飛び出しに注意する*



学校や公園が近くにあるときに

■ 子供の飛び出しに注意する*



(※事故によるけがのおそれがあります。)



自動車や子供に注意!
安全を確認し、乗りましょう

交差点を通るときに

■ 左折車に巻き込まれないように注意する*



転倒事故を防ぐために

こんなとき

■ 雨・風・雪のひどいときは乗らない



(バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。)

■ 合図以外は、ハンドルから手を離さない



(バランスがとりにくく、転倒によるけがのおそれがあります。)

こんな場所

■ 滑りやすい所では乗らない(積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど)



(スリップして、転倒によるけがのおそれがあります。)

⇒ 降りて、押して歩いてください。

■ 凹凸の激しい所を走らない(歩道の段差や、溝など)



(フレームや車輪の損傷や転倒によるけがのおそれがあります。)

⇒ 降りて、押して歩いてください。

安全上のご注意(つづき)

お読みください

警告

転倒事故を防ぐために

こんな乗りかた

■傘やステッキ、釣りざおなどを車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない



(車輪に巻き込まれ、車輪の異常ロックやほかの人や物にぶつけて事故や転倒によるけがのおそれがあります。)

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつないだりしない



(荷物やひもが、車輪に巻き込まれ、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。)

■巻き込みやすいものを車輪やギヤに近接させて乗らない(長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど)



(車輪やギヤに巻き込まれ、車輪の異常ロックや転倒によるけがのおそれがあります。)

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない



(ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。)

■アクロバティックな乗りかたはしない

■段差の乗り降りをしてしない



(転倒や落車によるけがのおそれがあります。)

■土踏まずやかかとでペダルを踏まない



(カーブでつま先が前車輪に当たり転倒によるけがのおそれがあります。)

■カーブで曲がる側のペダルを下げない



(ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。)

こんな使いかた

■走行以外に使わない(踏み台代わりなど)



(転倒によるけがのおそれがあります。)

■スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない

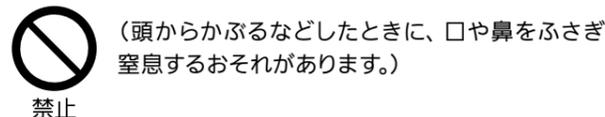


(車輪に巻き込まれ、車輪の異常ロックや転倒によるけがのおそれがあります。)

警告

包装の袋などは

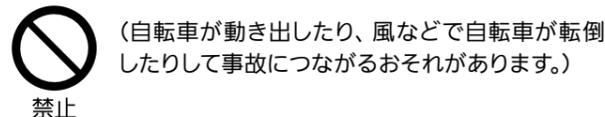
■取扱説明書を入れているポリ袋や、サドル・バスケットのポリ袋は幼児の手の届くところに置かない



(頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。)

保管のときは

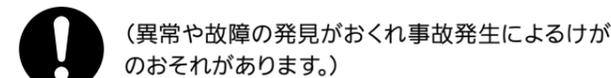
■不安定な場所に自転車を保管しない



(自転車が動き出したり、風などで自転車が転倒したりして事故につながるおそれがあります。)

定期点検は

■必ず実施する



(異常や故障の発見がおくれ事故発生によるけがのおそれがあります。)

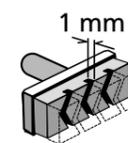
必ず守る

■ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常が無くても2年に1回は、交換する

■ブレーキブロックは、溝の残りが、1 mm になるまえに交換する



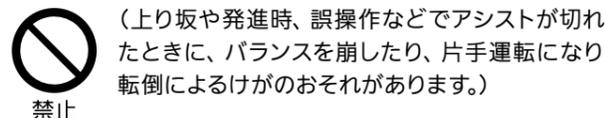
必ず守る



(ブレーキが利かなくなり、スリップのため転倒によるけがのおそれがあります。)

電動アシスト自転車を安全に乗るために

■走行中、手元スイッチの操作をしない(電源の入切、アシストモードの切替、ライトの操作など)



(上り坂や発進時、誤操作などでアシストが切れたときに、バランスを崩したり、片手運転になり転倒によるけがのおそれがあります。)

⇒必ず停止して、操作をしてください。

■停車中は、前後ブレーキをかけた状態にし、ペダルに足を乗せない



(不用意なアシスト力が働き転倒や接触事故によるけがのおそれがあります。)

■発進時は、ペダルを強く踏み込まない



禁止



(思わぬ急発進により転倒や衝突事故によるけがのおそれがあります。)

⇒強く踏み込まなくても、楽に発進することができます。

■バッテリー残量が少ない状態(残量表示が点滅状態)のときには、上り坂で乗車しない



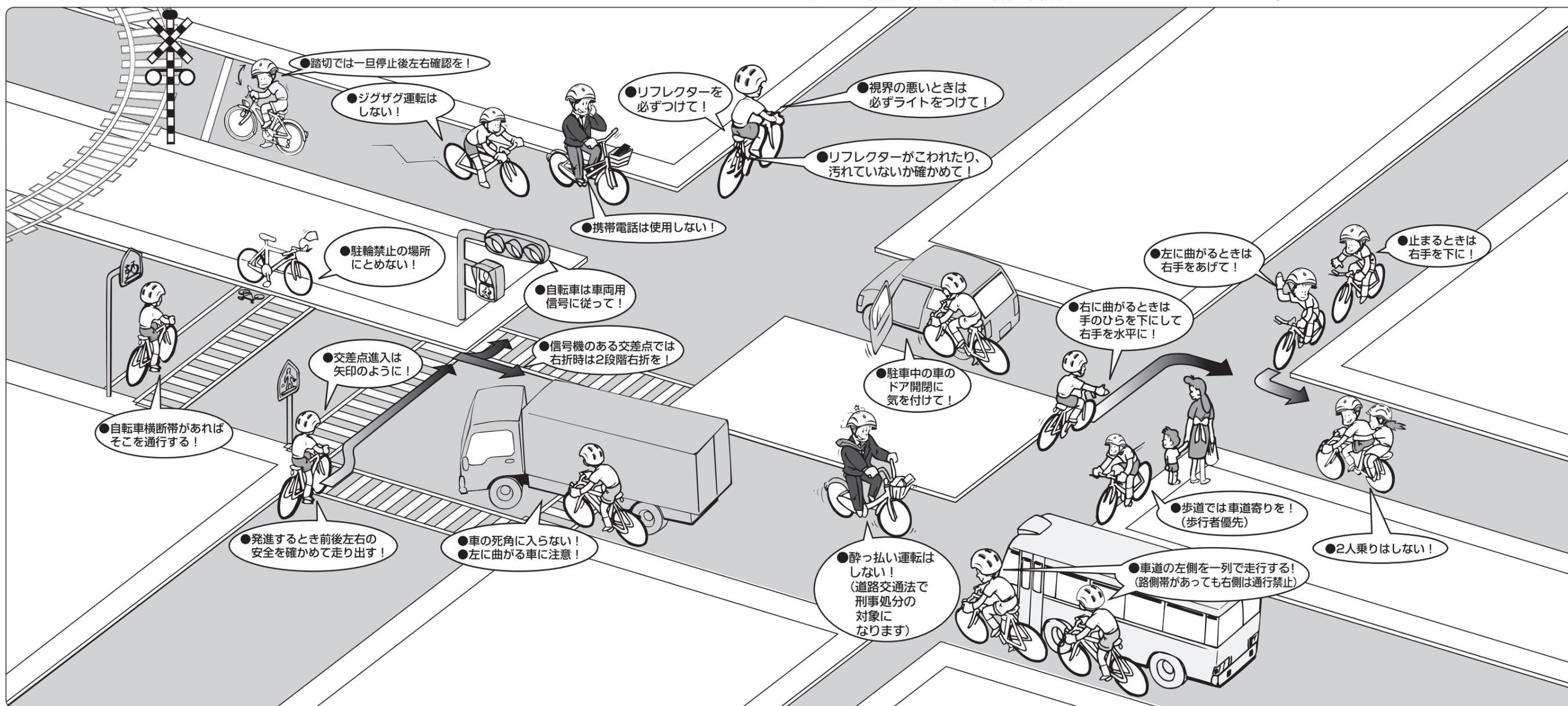
禁止



(アシストが切れたときに、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。)

お読みください

自転車で道を走るときのルール・マナー



- 安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
- 万一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。

電動アシスト自転車に乗ったあとは

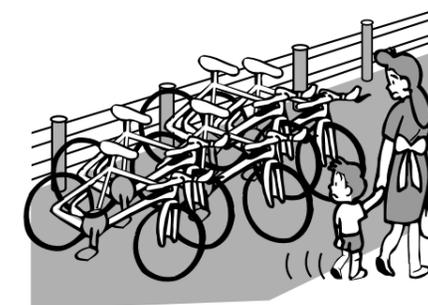
決められた場所に駐輪してください

- 駐輪するときは、ほかの人に迷惑にならないよう、決められた場所に止めましょう。
- 盗難防止のため、必ずかぎをかけましょう。



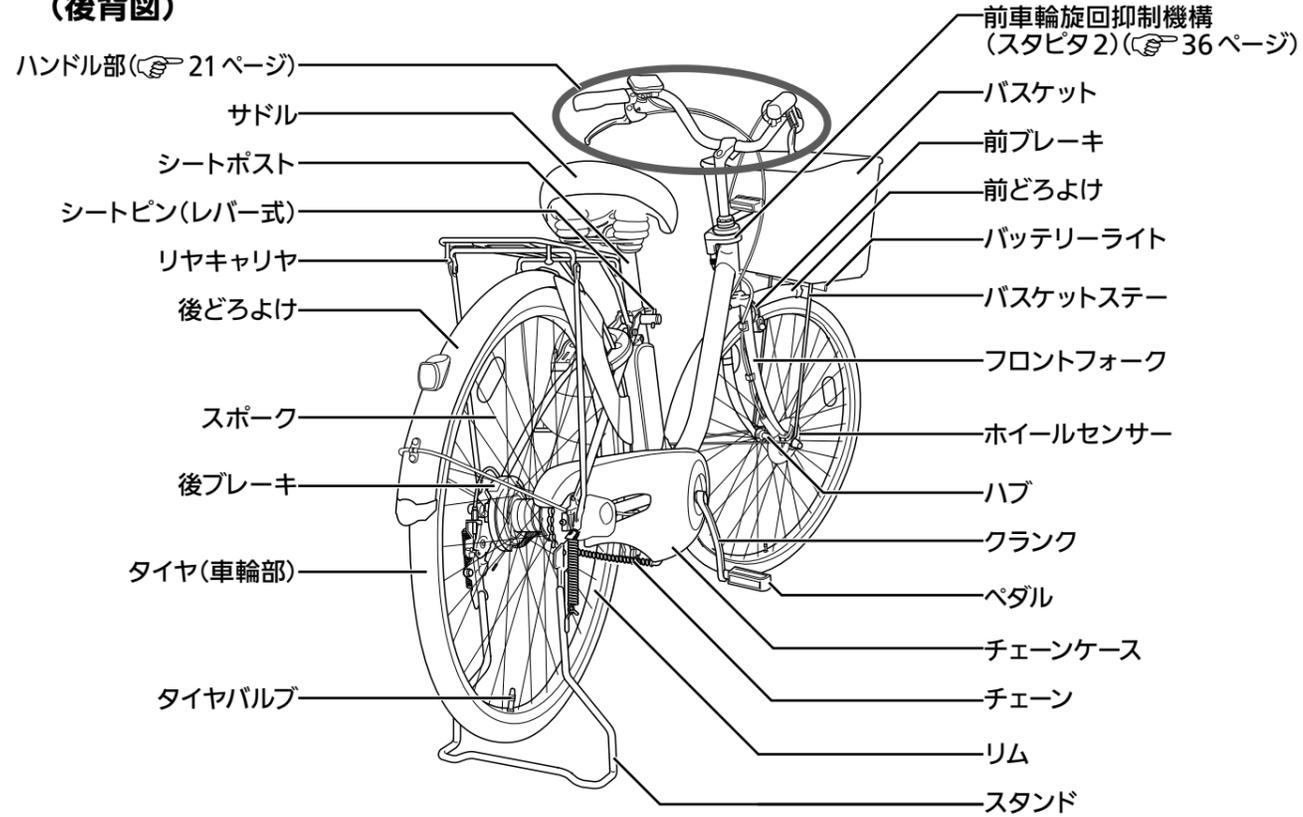
自転車放置禁止

- 自転車の放置は、ほかの人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。

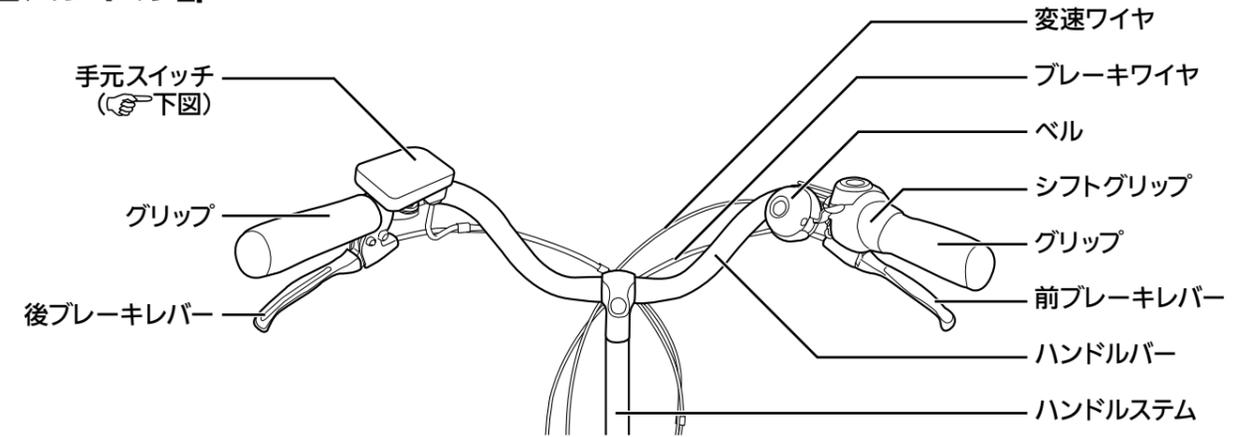


各部のなまえ

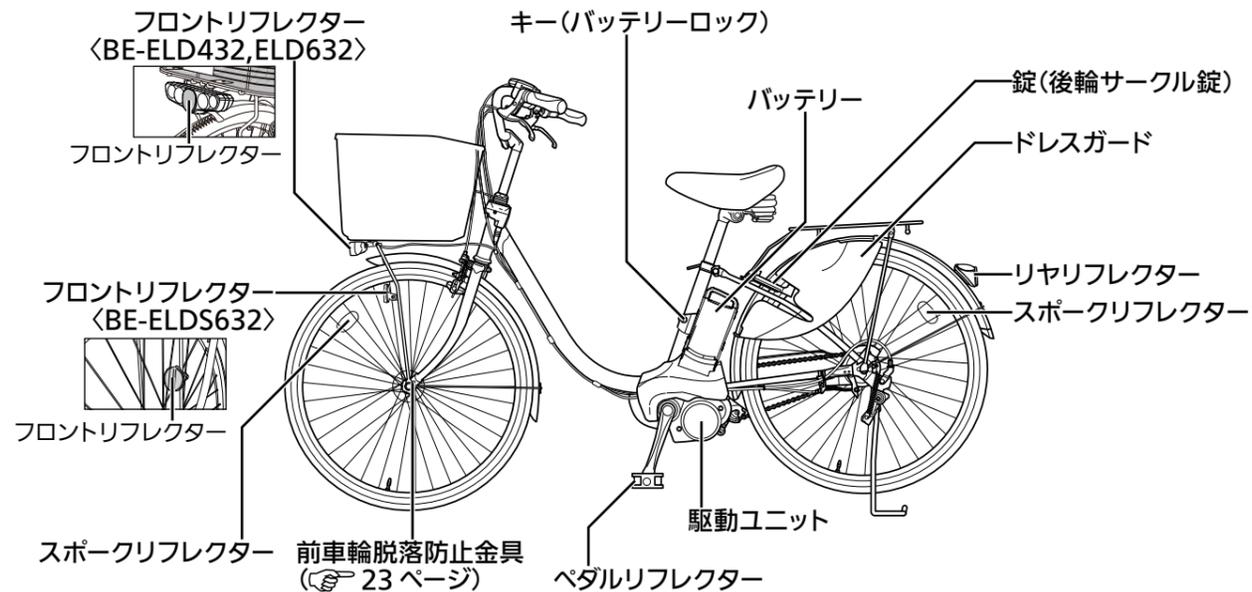
■自転車本体 (後背図)



■ハンドル部



(左側面図)



■手元スイッチ (エコナビ液晶スイッチ 4)

●エコナビランプ (☞ 42 ~ 43 ページ)



お知らせ

電源ボタンまたはライトボタン「入」のとき、バックライト (液晶表示部) が点灯し、夜間もボタン操作がしやすくなっています。

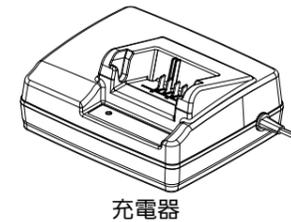
お願い

●自転車をご使用になる際は、必ずパネル面の保護フィルムをはがしてからご使用ください。照度センサーの感度が悪くなる場合があります。

■付属品

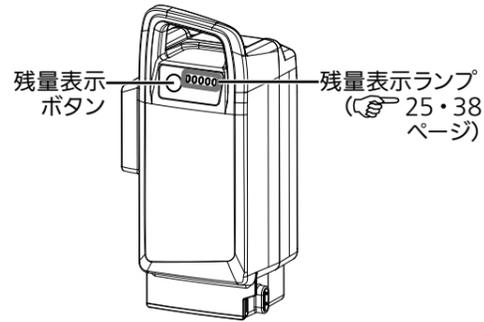
自転車本体のほかに下記のものすべて含まれていることをご確認ください。

- 充電器 (☞ 25 ページ)
- 取扱説明書
- 保証書
- ご愛用者登録はがき (プライバシー保護シール付)
- かんたん操作ガイド
- キー (3 本)

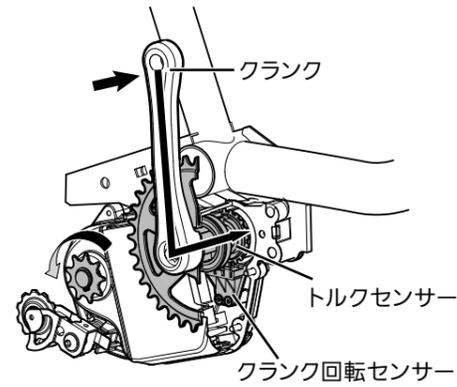


各部のなまえ(つづき)

■バッテリー



■駆動ユニット



ペダルの踏力を感知するトルクセンサーと、走行スピードを感知するホイールセンサーに加え、クランクの回転を感知するクランク回転センサーを搭載しました。3つのセンサーが同時に働き、アシスト力を調整することでさらになめらかな走行感と安全性を向上させました。

■キー：3本(バッテリーロックと後輪サークル錠の両方に使います)

お願い

- キーの番号は、キー本体と保証書に記載されています。キーは、紛失しないよう大切に保管し、キー番号は控えておいてください。(キー本体と保証書にキー番号が記載されていますが、63ページのキー番号欄に記入しておかれることをお勧めします。)

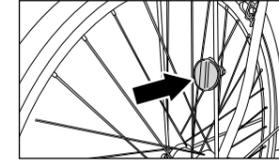
スペアキーの購入方法

キーを紛失された場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。その際には、保証書とキー番号が必要ですので、必ずご持参願います。



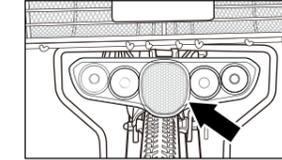
■安全装置

フロントリフレクター (前部反射器) <BE-ELDS632>



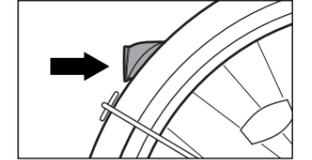
前からの光を反射します

フロントリフレクター (前部反射器) <BE-ELD432/632>



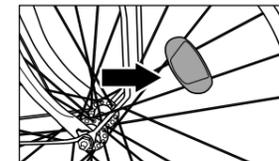
前からの光を反射します

リアリフレクター (ソーラーオートテール2)



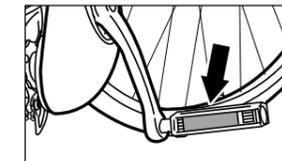
後からの光を反射します
夜間はLEDが点滅します

スポークリフレクター



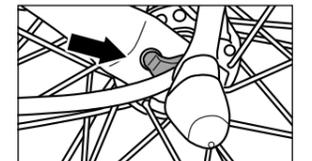
横からの光を反射します

ペダルリフレクター



前後からの光を反射します

前車輪脱落防止金具



前車輪の脱落を防止します

お願い

- リフレクターが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。(リアリフレクターが破損したままの夜間乗車は法令違反になります。)



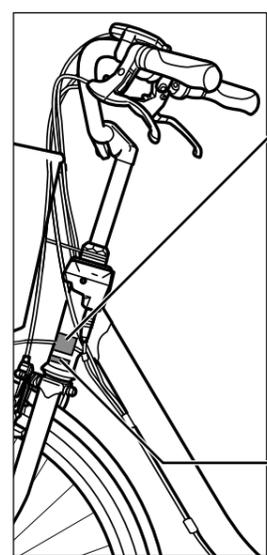
警告

■安全装置は取り外さない



禁止

(外したまま使用すると、事故発生によるけがのおそれがあります。)



■品番および型式認定済 TS マーク(保険無し)

- この型式認定済 TS マークは、国家公安委員会の型式認定を取得した製品にだけ表示することができるもので、法令の基準に適合することを明らかにするものです。
- 右上の英数字は車種品番、左上のTSマークは型式認定済 TS マークを表しています。
- このマークには、交通傷害保険は付帯していません。保険付き TS マークの貼り付けについては55ページを参照ください。

型式認定済 TS マーク



車種品番

※マークをはがしたり、傷つけたりしないでください。

■車体番号(刻印位置)

防犯登録に必要で、7文字(数字と英字)で表示しています。

充電しましょう

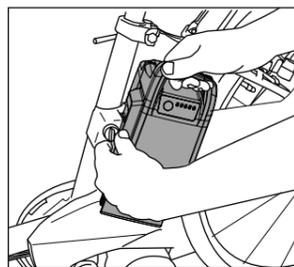
充電のしかた

1. 手元スイッチの電源を切る

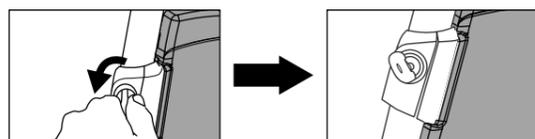


- ・手元スイッチの電源ボタンを押して電源を切る。(全表示消灯)
電源を切らないでバッテリーを外すと故障の原因になります。

2. バッテリーロックを外し、バッテリーを取り外す



- ・バッテリーロックにキーを差す。
- ・バッテリーを支え、キーを反時計方向に約 60 度回す。



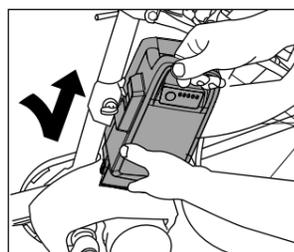
開錠状態のままキーは固定が可能
(この状態ではキーは抜けません)

注意

- バッテリーを支えてからキーを回す

(落下して、けがをするおそれがあります。)

必ず守る



- ・両手で支えながら引き上げて外す。
- ・キーを時計方向に約 60 度戻しキーを抜く。

注意

- バッテリーを幼児の手の届く所に置かない



禁止



- バッテリーは両手で扱う

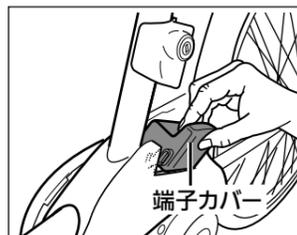


必ず守る

(落下して、けがをするおそれがあります。)

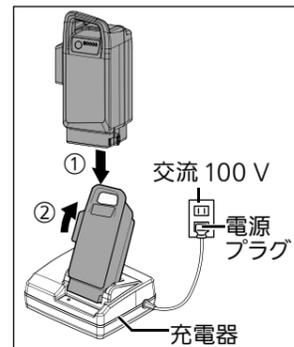
お願い

- バッテリーを取り外したあと、キーを抜き、保管してください。
- 長期間、バッテリーを取り外したままにするときは、汚れやほこりが付かないように、端子カバー(オプション品 61 ページ)を装着することをお勧めします。



端子カバー

3. バッテリーを充電器にセットする



- ・電源プラグをコンセント(交流100 V)に差し込む。
- ・バッテリーを上から入れ(①の方向)奥に倒す(②の方向)。

お願い

- 充電器の端子部が汚れていないか確認してください。

お知らせ

- 家庭用の交流 100 V 電源以外(車載用など)から充電すると、充電器が高温になったり、故障するおそれがあります。
- 充電器のプラグをコンセントに差し込むと火花が発生する場合があります。回避方法としてスイッチ付電源タップをご使用になることをお勧めします。(65 ページ)

注意

- 寝ているそばでは充電しない
- 充電中は長時間、充電器・バッテリーの同じ場所に触れない

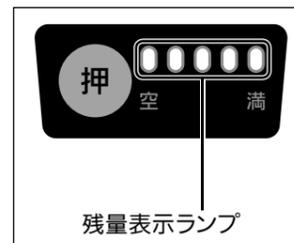


禁止

(充電中は、40℃～60℃になる場合があります、低温やけどのおそれがあります。)

充電のしかた

4. 残量表示ランプを確認する



- ・バッテリーの残量表示ランプの点灯(赤色)を確認する。
(充電状態に応じた表示になります。)

残量表示ランプ点灯・点滅
(充電中)

残量表示ランプ消灯
(充電完了)

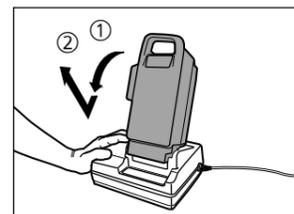
お願い

- 充電時間の目安は仕様(62 ページ)をご覧ください。

お知らせ

- 走行直後などバッテリー内部の温度が上昇しているときは、充電できないことがあります。バッテリー内部の温度が規定温度まで下がれば、充電を開始します。
(周囲の温度により、充電開始までに 1～2 時間かかる場合があります。)

5. バッテリーを充電器から外す

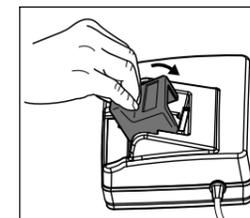


- ・充電器を手で押さえ、バッテリーを手前に倒して(①の方向)、取り外す(②の方向)。
- ・その後、コンセント(交流 100 V)から電源プラグを抜く。

※充電器の待機消費電力は約 0.5 W です。

お知らせ

- 汚れやほこりが付くのを防ぐため、端子カバー(オプション品 61 ページ)を、充電器の充電端子部にかぶせておくことをお勧めします。



注意

- 充電器を手で押さえながらバッテリーを外す

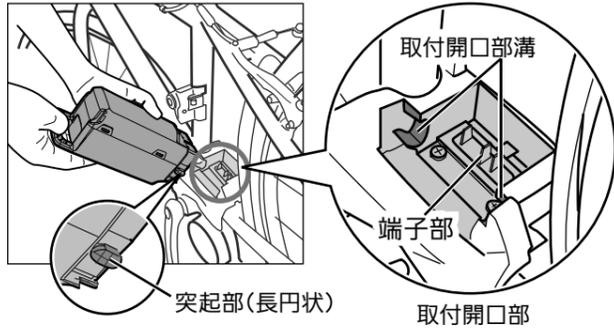


必ず守る

(充電器が落下し、けが・破損のおそれがあります。)

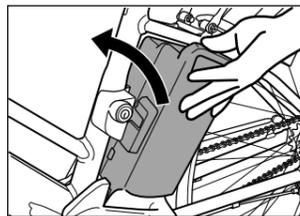
充電しましょう(つづき)

6. 自転車の取付開口部にバッテリーを乗せる



- ・残量表示ランプのある面を手前にする。
- ・両手でバッテリーを持ち、左右の取付開口部溝とバッテリーの突起部(長円状)を合わせながら乗せる。

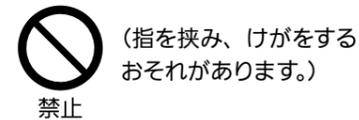
7. バッテリーを起こす



- ・バッテリーをしっかりと最後まで押し込む。(バッテリーのカドを支点にして弧をえがくように起こす)
- ・一度、手前に引いて、外れないことを確認する。

注意

■バッテリーとフレームの間に指を入れない



充電するときのポイント

お知らせ

- バッテリー保護のために、満充電からの再充電はできません。
- バッテリー温度が低い場合は、充電時間が長くなります。
- リチウムイオンバッテリーは、メモリー効果がありませんので、リフレッシュ充電*は不要です。
※リフレッシュ充電とは、バッテリー性能を回復させるため一度放電させたあと、充電を行うことです。
- この取扱説明書に記載の温度は目安です。実際には、条件により、多少のずれが生じる場合があります。
- バッテリーに加工を施した場合は、保証の対象外となります。

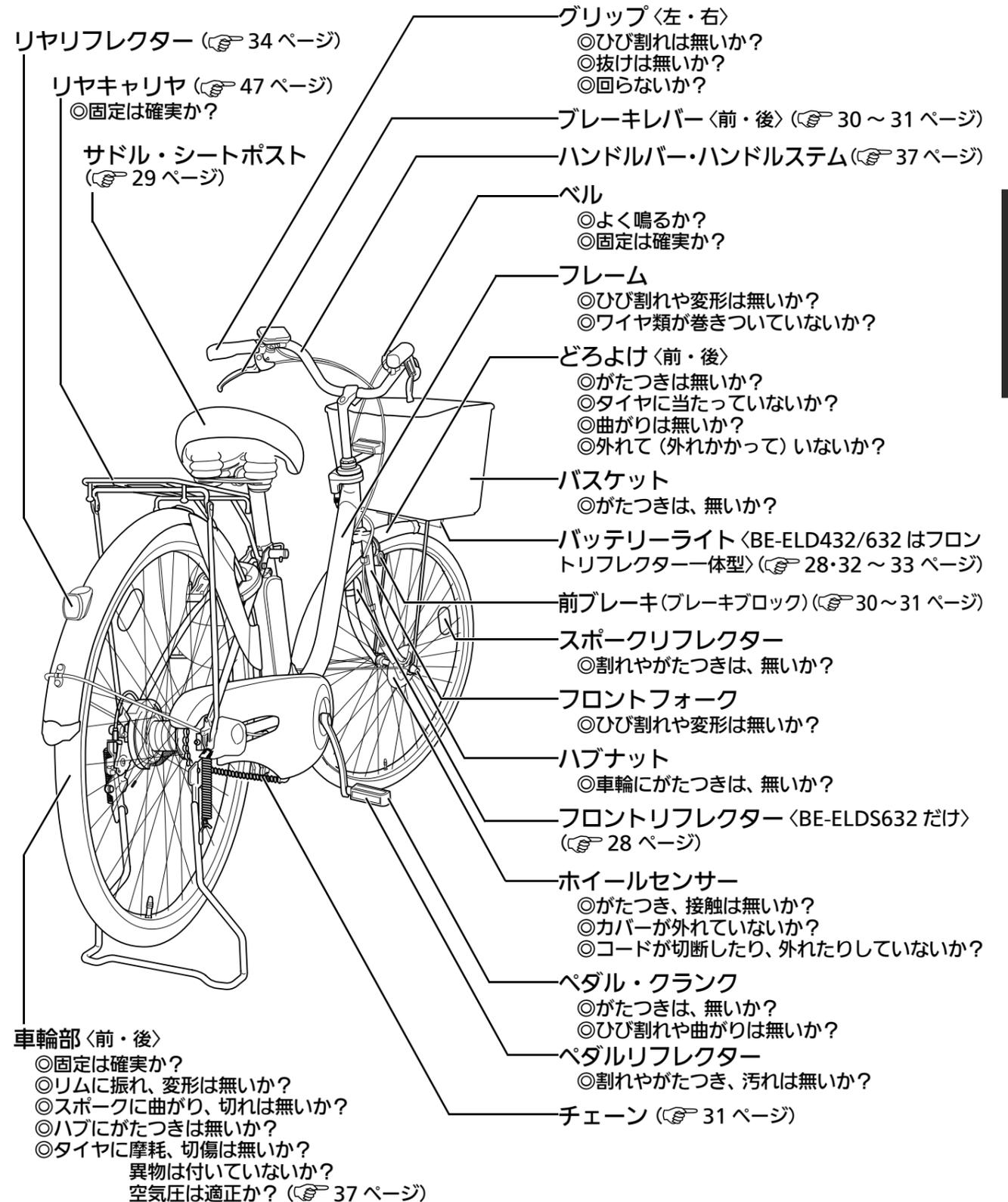
お願い

- 初めて乗る場合や、1か月以上乗られていないときは、必ず充電してください。(出荷時は、満充電していません。)
- 充電器は5℃～35℃の場所に設置し充電する場所との温度差が15℃以内で充電してください。(結露しないようご注意ください。)
- バッテリーの温度が0℃以下または充電する場所との温度差が大きい場合は、十分に充電できていない場合があります。その場所で1時間以上放置してから充電してください。
- 充電器には、ほこりがたまらないよう、ご注意ください。
- 雨天走行後に充電するときは、水分をふき取ってから充電してください。(充電器内に水が入って故障の原因になります。)
- 充電器は、必ず、外装箱から出して、ご使用ください。(充電中の熱により、ケースなどが変形するおそれがあります。)
- 使用しなくても、3か月に一度は充電してください。(P.50 ページ)
- テレビ・ラジオなどのそばで充電した場合、雑音が入ったり、テレビの画面がちらついたりすることがあります。その場合は、電化製品から離して(コンセントを変えるなど)充電を行ってください。

乗るまえの点検と調整

安全にご乗車いただくため、乗るまえに点検と調整を実施する習慣をつけましょう。

■自転車部品の点検(電源を切った状態で行ってください)



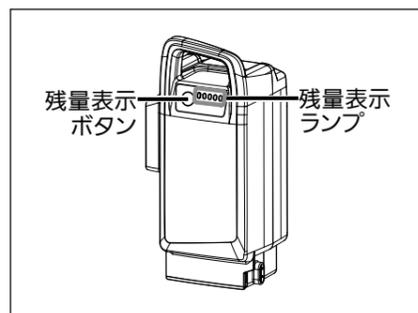
乗るまえに

乗るまえの点検と調整(つづき)

わからないときは、販売店にご相談ください。

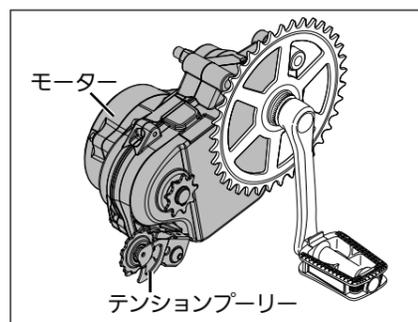
■バッテリー、駆動ユニット、手元スイッチの点検

●バッテリー



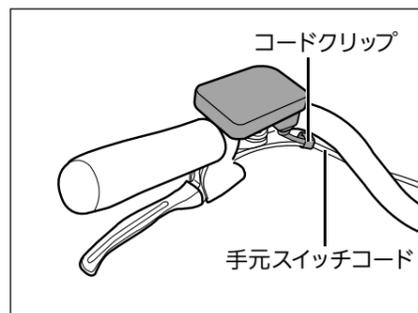
- 残量表示ボタンを押したとき
 ◎残量表示ランプが点灯するか？(P.38 ページ)
 外観を見て
 ◎ケースにひび割れや変形、ねじの緩みなどは無いか？
 ◎バッテリー取り付け端子部が汚れていないか？(P.26 ページ)
 車体に装着してみる
 ◎車体に装着したとき、しっかりと車体にはまっているか？(P.26 ページ)

●駆動ユニット



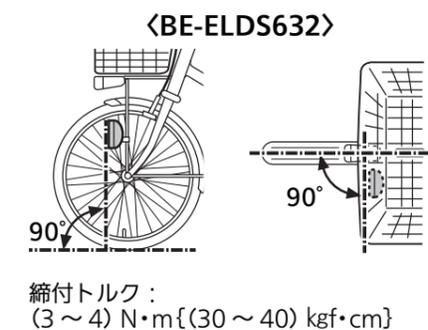
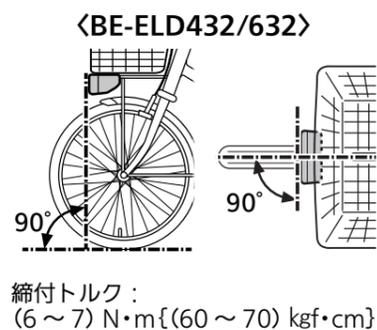
- 電源を入れたとき
 ◎異常な音はしていないか？
 ◎異臭はしていないか？
 ◎モーター部や底部が高温になっていないか？
 ペダルに力を加えてみる
 ◎駆動ユニットがフレームに対してがたついていないか？
 ◎テンションプーリーは円滑に動作するか？

●手元スイッチ



- 電源を入れたとき
 ◎液晶表示部に「888」が表示されるか？(P.44 ページ)
 ◎ライトボタンを押すとライトは点灯するか？(P.32 ページ)
 外観を見て
 ◎手元スイッチのケースや操作スイッチ部にひび割れなどが無いか？
 ◎スタンドを上げて、ハンドルを曲げたとき、手元スイッチコードが突っ張っていないか？
 ◎コードに断線や損傷は無いか？
 ◎コードクリップは外れていないか？

■フロントリフレクターの点検



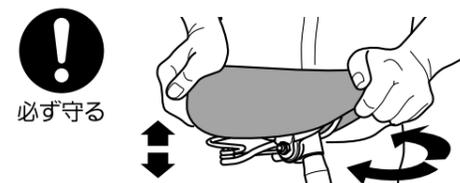
- ◎割れやがたつき、汚れは無いか？
 ◎反射面が地面および前車輪に対して直角になっているか？

お願い
 ●角度の調整は販売店にご依頼ください。

■サドルの点検と調整

警告

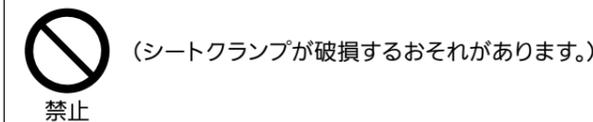
■調整後は必ずがたつきやずれが無い点検をする



(シートポストが折れたり、固定が不安定になったりし、転倒によるけがのおそれがあります。)

注意

■シートピンを締めすぎない



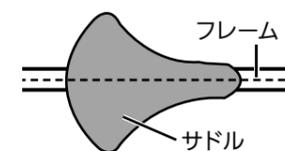
(シートクランプが破損するおそれがあります。)

●点検について

- ◎両足のつま先が地面に着くか？
 ◎シートポストのはめ合わせ限界標識が見えていないか？
 ◎サドルの固定は確実か？

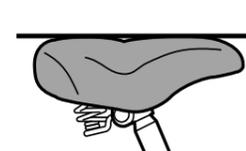
サドルの正しい方向と角度

〈上から見た図〉



◎サドルがフレームと平行になっているか？

〈横から見た図〉



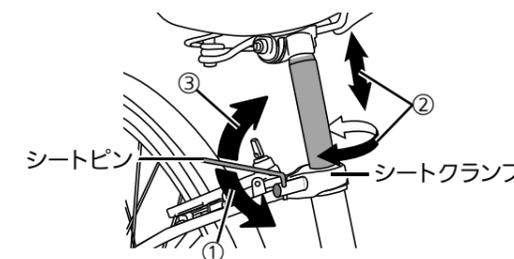
◎サドルの上面と地面が平行になっているか？

お願い

●角度の調整が必要なときは販売店にご依頼ください。

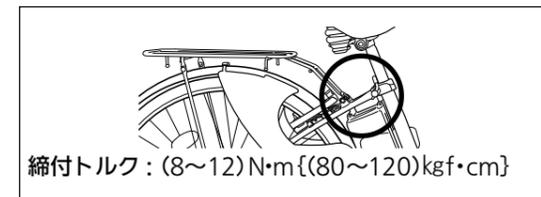
●高さとの調整

- ①シートピンを緩める。
- ②サドルの高さと向きを調整する。
- ③シートピンを締める。
- ④がたつきやずれが無いことを確認する。



お知らせ

●以下のトルクでシートポストは十分固定されます。



- サドル抜け防止機構のため、サドル(シートポスト)を引き抜くことはできません。
- サドルを標準仕様より低くしたいときは、オプションの直付けサドル(P.61 ページ)に交換されますとサドル高さを通常より約3cm~4cm下げることができます。

乗るまえの点検と調整(つづき)

■ブレーキの点検と調整(調整は販売店にご依頼ください)

警告

■ローラーブレーキグリスの補給には、ローラーブレーキ専用グリス以外は使用しない

(制動力が低下し、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。)
⇒販売店でローラーブレーキ専用グリス(当社品番：NBP002)を補給してください。

禁止

注意

■走行直後は、ブレーキ部に手を触れない

(ブレーキ部が高温になり、やけどの原因となります)

接触禁止

お知らせ

●平成 25 年 12 月 1 日より、制動装置(ブレーキ)に不備のある自転車と認められる自転車が運転されているときは警察官が停止させ検査ができるようになりました。停止や検査を拒んだり、運転継続禁止命令に従わなかった場合は罰金が科せられる場合があります。

●点検について

ブレーキレバー(前後)

- ◎ブレーキの利きは良いか?
- ◎ブレーキワイヤのさびやほつれは無いかな?
- ◎前後ブレーキレバーの取り付け部を押して動いたりしないか?
- ◎開き・引きしろは適正か?
- ◎操作したときに動作は円滑か?

前ブレーキ(ブレーキブロック)

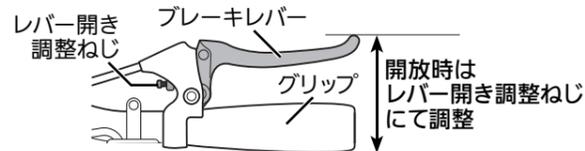
- ◎すりへっていないか?
- ◎異物は付いていないか?
- ◎固定は確実か?
- ◎タイヤに当たっていないか?
- ◎横から見てリムと平行になっているか?

お願い

- 確実な制動力を得るために、通常 1 ~ 2 年に 1 回程度は販売店でローラーブレーキ専用グリスを補給してください。
- ブレーキ調整が不適切な場合、ブレーキが利き過ぎたり、逆に利かなかったりすることがあります。また、使用によるなじみや摩耗で、ブレーキの利き具合が変わります。ブレーキが利きにくい場合は、販売店で点検を受けてください。

●ブレーキレバーの開き調整

- ブレーキレバーの開き調整は、ブレーキレバーを開放した状態で、レバー開き調整ねじを回す。
- 操作しやすい位置(ブレーキレバーの引き始めに指の第一関節から第二関節がかかる位置が推奨)に調整する。



お願い

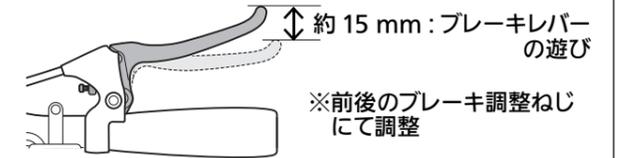
- ブレーキレバーを強く握って、レバーとグリップが付く場合は、遊びを少なくして再調整してください。

お知らせ

- レバー開き調整ねじの無い機種もあります。

●ブレーキレバーの引きしろ調整

- ブレーキレバーの遊びが約 15 mm になるよう、前後ブレーキの引きしろをブレーキ調整ねじで調整する。

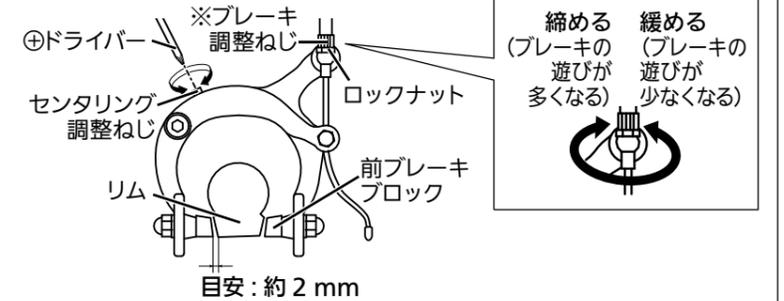


お願い

- 上記の調整範囲は目安です。調整後は必ずブレーキテストをしてください。
- 前後車輪の回転が重くないことを確認してください。(電源を入れずに行ってください。)

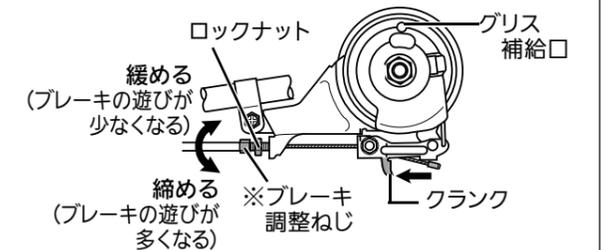
前ブレーキ

- ①ロックナットを緩める。
- ②ブレーキ調整ねじを回す。
- ③センタリング調整ねじで、リムと前ブレーキブロックの透き間が左右均等になるように調整する。
- ④走行してブレーキの利きを確認する。
- ⑤ブレーキ調整ねじが緩まないよう、ロックナットを適正締め付トルクで締め付ける。
締め付トルク:(1 ~ 2) N・m{(10 ~ 20) kgf・cm}



後ブレーキ

- ①ブレーキ調整ねじのロックナットを緩める。
- ②クランクを押しながら、ブレーキ調整ねじを回す。
- ③走行してブレーキの利きを確認する。
- ④ブレーキ調整ねじが緩まないよう、ロックナットを適正締め付トルクで締め付ける。
締め付トルク:(1 ~ 2) N・m{(10 ~ 20) kgf・cm}



■チェーンの点検と調整(調整は販売店にご依頼ください)

●点検について

- ◎空回りしないか?
- ◎小石などが挟まっていないか?
- ◎歯飛びや異常な音(バリバリ音など)は無いかな?
- ◎油切れはしていないか?
- ◎たるみが大きくないか?
- ◎さびていないか?
- ◎チェーンケースに接触していないか?

●チェーンのたるみについて

走行中、チェーンの周りから異常な音がするときは、チェーンが伸びているか、テンションプーリーが固着している場合があります。販売店に点検・調整・交換をご依頼ください。

お願い

- この自転車は電動アシスト自転車用に耐久性を高めた強化チェーンを使用しています。チェーンを交換する際は、必ず純正チェーンを使用してください。



乗るまえの点検と調整(つづき)

■バッテリーライトについて



警告

■ライトの取り付けが緩んだまま、走行しない

(前方を照らす角度が狂い、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。)
⇒乗るまえに点検してください。



禁止

■ライトの光を見続けたい

(目を痛める原因となります。)



禁止

お知らせ

●アシストがなくなっても、バッテリーライトは点灯します。しばらくするとゆっくり点滅してから消灯しますので点滅状態になったら降りて押ししてください。

●オートライト機能について(自動点灯)

照度センサー



- ・電源が『入』の状態でも周囲が暗くなると、照度センサーが働き自動で点灯します。
- ・明るくなると、自動で消灯します。
- ※電源が入った状態で10分以上車両を放置後、自動で消灯します。
- ※ライトボタンを操作すると、オートライト機能は動きません。

○照度センサーについて

- ・自転車をご使用前に、必ず手元スイッチの保護フィルムをはがしてください。
- ※照度センサーの感度が悪くなる場合があります。
- ・手元スイッチの取り付け状態やご使用の周囲環境によって、意図しない点灯・消灯をする場合があります。必要に応じて、手動操作での点灯・消灯の切り替えをご使用ください。

●点灯方法について(手動の場合)



ライトボタン

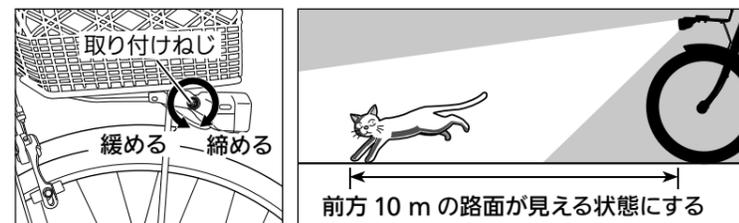
- ・ライトボタンを押すと、バッテリーライトが点灯します。
- ・再度ライトボタンを押すと、消灯します。
- ※バッテリーライトは手元スイッチの電源の入切に関係なく点灯・消灯することができます。

●点検について

- ◎点灯するか？
- ◎取り付け角度は適切か？
- ◎割れやがたつき、汚れは無いかな？

●角度の調整

ライトが破損するおそれがありますので、取り付けねじを緩め、調整してください。フロントリフレクター反射面を地面に対して垂直になるように調整をすると、ライト照射角度も適正になります。



使用工具：スパナ (10 mm) またはボックスレンチ (10 mm)
締付トルク：(6～7) N・m [(60～70) kgf・cm]

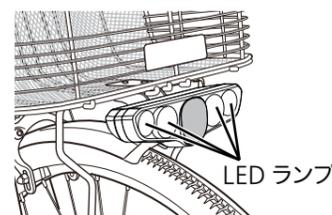
お願い

- 角度の調整は、販売店にご依頼ください。
- レンズを無理に取り外さないでください。本体が壊れる原因になります。
- 対向者(車)にまぶしくならない角度に調整してください。

お知らせ

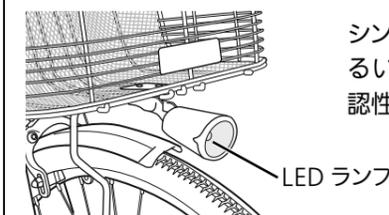
- 内部のLEDは、基板直付けのため交換できません。

●ワイド4-LEDビームランプの特長 <BE-ELD432/632>



4灯の白く明るいLEDで夜間の被視認性が良くなっています。

●リトルLEDビームランプの特長 <BE-ELDS632>



シンプルなデザイン性と明るいLEDで、夜間の被視認性が良くなっています。

乗るまえの点検と調整(つづき)

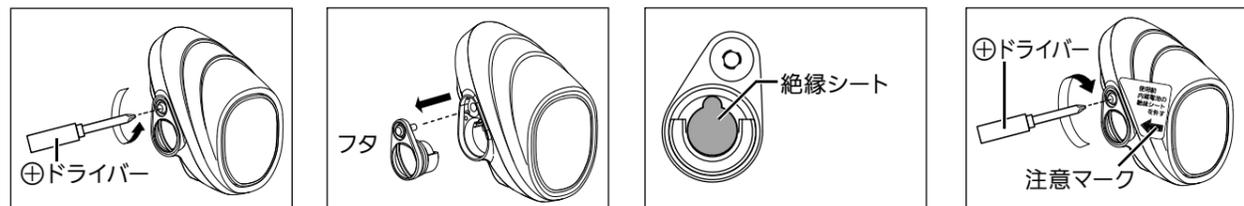
■リヤリフレクター(ソーラーオートテール2)について

このリヤリフレクターは充電用のボタン電池に太陽光発電(ソーラーパネル)で充電され、走行中に周囲が暗くなると自動で点滅し、停止すると消灯します。ただし、停止後も約1分間は点滅を続けます。

- ①ご使用のまえに絶縁シートを取り外してください。
- ②絶縁シートの取り外し後、直射日光下で約2時間充電してください。

絶縁シートの取り外しかた

- ①プラスドライバーでねじを緩める
- ②フタを引き抜く
- ③絶縁シートをはがす
- ④ねじを締め付け、注意マークをはがす

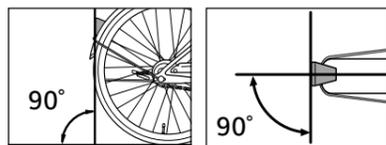


お知らせ

- ソーラーパネルを覆ったり、暗い所へ自転車を置いたりした場合、充電できずに自動点滅しない場合があります。このようなとき、蓄えた電力量を使い切る深放電が繰り返され、極端に電池寿命が短くなることがあります。

●点検について

- ◎割れや、汚れは無いか?
- ◎反射面の角度は適切か?



●お手入れ

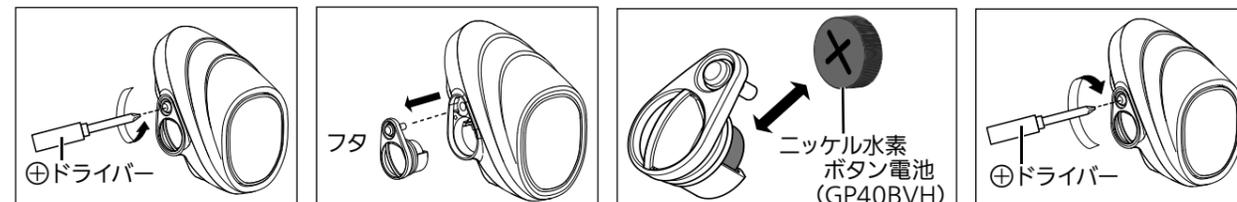
レンズに付いた汚れはこまめにふき取ってください。レンズの汚れがひどい場合は、水もしくは中性洗剤の水溶液を浸み込ませた布でふき取ってください。

お知らせ

- レンズの汚れがひどいと光センサー受光部に光が届きにくくなるため、明るい昼間でも、点滅することがあります。また、太陽電池の充電効率も悪くなります。
- 内部のLEDは基板直付けのため交換はできません。

●充電電池の交換方法

- ①プラスドライバーでねじを緩める
- ②フタを引き抜く
- ③充電電池を交換する(+表示をフタ側にして装着する)
- ④ねじを締め付ける



締め付トルク：(0.2～0.3) N・m{(2～3) kgf・cm}

お願い

- 取り替えたボタン電池は、販売店かリサイクル協力店へお持ちください。

お知らせ

- 連続点滅時間は、約8時間(直射日光下2時間放置後満充電時、連続点滅)となっておりますが、ご使用の状況により、変わる場合があります。(曇りまたは雨の日でも充電は可能ですが充電効率が低くなります)
- ボタン電池の寿命は、約2年が目安となっておりますが、ご使用の状況により、変わる場合があります。

警告

■ボタン電池は次のような使いかたをしない



- 充電器などで充電しない
- 電池を火の中に投入しない
- 電池をショートさせない
- 電池の⊕⊖を逆にして使用しない

(使いかたを誤ると、電池が発熱・液漏れ・破裂によるけがのおそれがあります。)

■ボタン電池は乳幼児の手の届く所に置かない



(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)
⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

乗るまえの点検と調整(つづき)

■前車輪旋回抑制機構(スタピタ 2)について



警告

■ハンドルの旋回抑制機構が解除(スムーズにハンドル操作ができる状態)されていることを確認してから乗る

! (ハンドルの旋回が抑制されて、転倒によるけがのおそれがあります。) ⇒スタンドのパネが弱くなり、スタンドをはね上げてもハンドルの旋回が抑制される場合は、ご使用を中止し、販売店にご相談ください。



注意

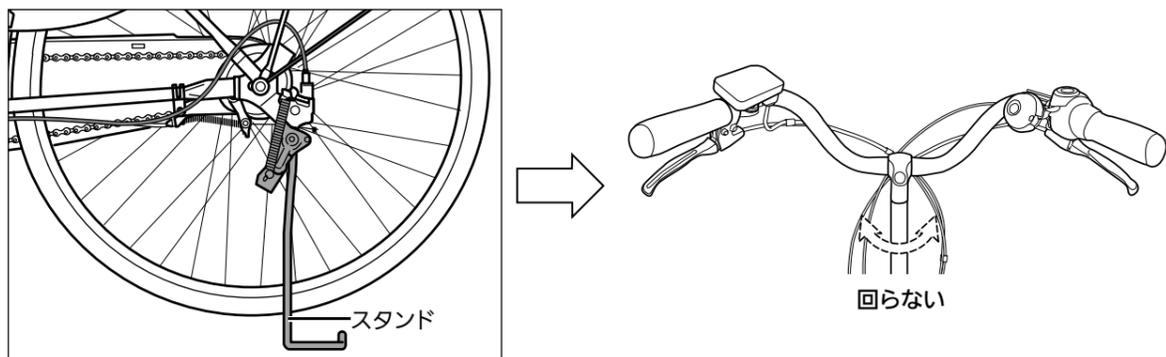
■前車輪旋回抑制機構が壊れたまま使用しない

! (停車中、ハンドルが回転して転倒し、けがのおそれがあります。) ⇒ご使用を中止し、販売店にご相談ください。

●前車輪旋回抑制機構(スタピタ 2)とは?

- スタンドを立てることにより、ハンドルが自動的に固定される当社独自の機能部品です。駐輪するときのハンドルのふらつきや、回転を抑制します。
- 回転方向に強い力を加えると、『カチッカチツ』と音がしてハンドルは回転します。

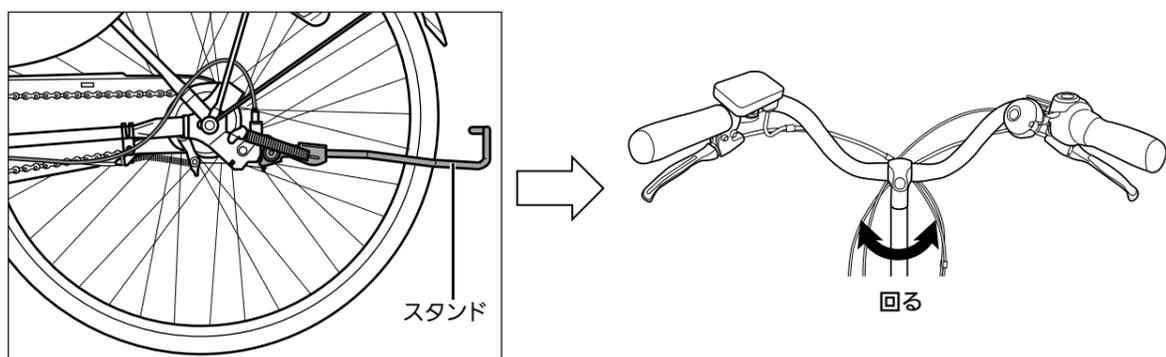
スタンドを立てたとき



お願い

- スタンドを立てた状態で、無理なハンドル操作は行わないでください。前車輪旋回抑制機構が壊れる原因になります。

スタンドを走行状態にしたとき



お知らせ

- スタンドを走行状態にしたとき、ハンドルの固定が解除され、ハンドルは回転します。

■ハンドルの高さの点検



警告

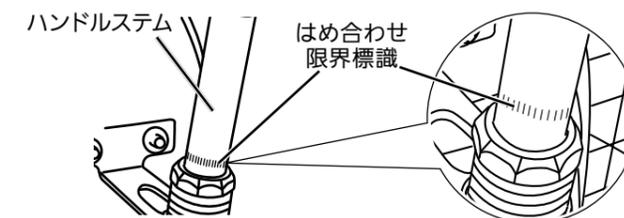
■ハンドルステムのハイトストッパーを外して、ハンドルステムを一番下まで下げない



固定が不完全になる場合があります、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

●点検について

- ◎ハンドルの固定は確実か?
- ◎はめ合わせ限界標識が、見えていないか?
- ◎ハンドルが前輪に対して直角か?



お願い

- 調整が必要なときは販売店にご依頼ください。

■空気圧の調整(前後のタイヤ)

●適正な空気圧

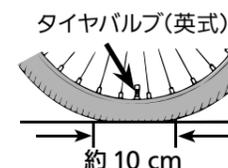
自転車に乗った状態で接地部の長さが、約 10 cm 程度が、適正です。

お知らせ

- 長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
- タイヤバルブの型式は、英式です。
- 圧力計の付いたポンプで空気を入れる場合は、(300~400) kPa { (3.0~4.0) kgf/cm² } の数値内になるように入れてください。

お願い

- 上記の空気圧は体重 65 kg 程度の方が乗車された場合の適正な空気圧です。お子様を乗せて走行する場合は、通常より高い空気圧(400 ~ 450) kPa { (4.0 ~ 4.5) kgf/cm² } にて使用してください。



■タイヤについて



警告

■パンクしたまま走行しない

! (ハンドルがとられ、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。)

禁止

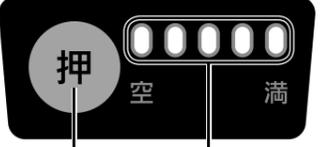
お願い

- 走行まえにタイヤに異物が刺さっていないか点検してください。パンクやタイヤ・リムが損傷する原因になります。
- タイヤの空気圧は 300kPa { 3.0 kgf/cm² } 未満では使用しないでください。タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。
- ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
- ガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、すぐにふき取ってください。

バッテリーの残量

■バッテリーの残量 バッテリーの残量と目的地までの距離をよく確認してください。

バッテリーの容量が、どの程度残っているか、またはどの程度充電されているかを知ることができます。バッテリーの残量表示ボタンを押すと、残量表示ランプが、残量を表示します（あくまでも目安としてご使用ください）。

バッテリー部 残量表示ランプの表示状況	バッテリー残量					目安
	20	40	60	80	100 %	
LED ランプ 5 つとも点灯  残量表示ボタン 残量表示ランプ	100% ~ 81%					アシスト走行できます 満充電からスイッチの電源を入れて走行すると1灯ずつ点灯数が減ります。
LED ランプ 4 つ点灯 	80% ~ 61%					
LED ランプ 3 つ点灯 	60% ~ 41%					
LED ランプ 2 つ点灯 	40% ~ 21%					
LED ランプ 1 つ点灯 	20% ~ 11%					
LED ランプ 1 つ点滅 	10% ~ 0%					充電時期のお知らせ そろそろ充電してください。アシスト力が徐々に低下する場合があります。
LED ランプ 1 つ点滅 	0%					

お知らせ

- バッテリーが新品のときや、長期間使用されていないとき、または、厳寒の日や急な坂を登ったときは、まれに、残量表示ランプが点灯していても、アシスト力が働かないことがあります。このようなときは、再度充電してください。
- バッテリー残量が少ない状態で一定期間放置すると保護回路が働き、電源が入らなくなる場合があります。その場合はバッテリーを充電器にセットすると解除されます。

手元スイッチの電源ボタンを押すと、残量を表示します。

手元スイッチ 液晶表示部の表示状況	バッテリー残量					目安
	20	40	60	80	100 %	
アシストモード表示 オートマチック 100% オートマチック 90% 	100% ~ 81%					アシスト走行できます バッテリー残量が、100パーセントから20パーセントの間は10パーセントずつ表示が減ります。
オートマチック 80% オートマチック 70% 	80% ~ 61%					
オートマチック 60% オートマチック 50% 	60% ~ 41%					
オートマチック 40% オートマチック 30% 	40% ~ 21%					
オートマチック 20% オートマチック 11% 	20% ~ 11%					
オートマチック 10% オートマチック 5% 数値点滅	10% ~ 5%					充電時期のお知らせ 20パーセントから5パーセントまでは1パーセントずつ表示が減ります。アシスト力が徐々に低下する場合があります。
ザンリョウナシ 0% 数値点滅 ザンリョウナシ表示：アシスト停止	4% ~ 0%					

お知らせ

- 残量が4パーセントから0パーセントまでは「0パーセント」の点滅表示になります。
- 手元スイッチの液晶表示部は、残量が0(空)になると、アシストモード表示が「ザンリョウナシ」になります。

お願い

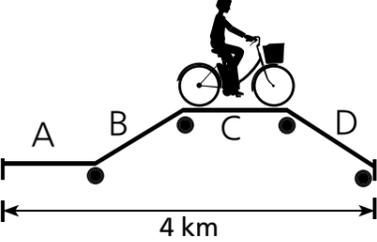
- 残量表示の精度を低下させないため、数か月に一度は0%の表示が点滅するまで使い切ってください。

走行できる距離の目安

■走行できる距離の目安

●測定方法

一般社団法人自転車協会が定める、『電動アシスト自転車の走行距離の測定方法に関する基準(2010年4月1日施行)』に基づき測定

走りかた	走行条件	走行距離(km)							
		10	20	30	40	50	60	70	
標準パターン (業界統一テスト条件)* 	標準パターン(4 km) Aは、平坦路 1 km、 変速 ③、15 km/h Bは、4 度坂 1 km、 変速 ②、10 km/h Cは、平坦路 1 km、 変速 ③、15 km/h Dは、4 度坂 1 km、 変速 ③、20 km/h ●印は 10 秒間の停止を表す	パワー	BE-ELD432/632	44 km					
			BE-ELDS632	30 km					
		オートマチック		53 km					
		ロング		72 km	48 km				
4度登坂連続パターン 	4 度坂、変速 ②、10 km/h	パワー		15 km					
				10 km					
		オートマチック		18 km	12 km				
		ロング		21 km	14 km				

※一般社団法人自転車協会が定める、『電動アシスト自転車の走行距離の測定方法に関する基準』に準拠したテスト条件。先に記載している、1 満充電当たりの走行距離の測定条件は、以下のとおりです。(業界統一テスト条件)

- 1) 環境温度は 20 ± 5 °C、無風の状態
- 2) バッテリーは新品を用い、バッテリーライトは消灯状態
- 3) 車載重量(乗員と荷物の合計) は 65 kg
- 4) 路面は乾燥した平滑な路面
- 5) タイヤ空気圧はタイヤ側面に刻印されている標準空気圧
- 6) シャーシダイナモ(室内計測機) による計測

●各アシストモードの詳細については、42 ページをご覧ください。

●走行距離は、バッテリーの劣化度合や、発進停止・徐行後の加速・登坂路走行の頻度により短くなります。また、冬期など気温が低いときにも短くなります。

●走行距離が短くなる環境 / 使いかた

 冬期、寒いとき※1	 坂道が多いとき	 向かい風が強いとき※2 や 走行速度が速いとき	 ペダルが重くなる走りかた (例: 重い変速位置 [ギヤ] で 走行) 急加速をしたとき
 乗員体重、積載質量(荷物)が 重いとき※3	 発進、停止、加減速の 回数が多いとき	 路面の状態が悪い (凸凹道) とき	 タイヤの空気圧が 低下しているとき

※1 冬期(寒い環境 約 5 °C 以下) では、バッテリーの性能が低下し、走行距離が大幅に短くなる場合があります。
⇒バッテリーを暖かい室内で保管し、使用するときだけ自転車に装着することで、性能低下を軽減することができます。

※2 風速 2 m/s の向かい風中を走行した場合、約 40 パーセント、走行距離が短くなります。

※3 積載質量(乗員体重) が 10 kg 増えた場合、約 10 パーセント、走行距離が短くなります。

●充電回数の増加や使用期間が長くなることでバッテリーの容量が少なくなり、走行距離が次第に短くなります。

●バッテリーは使用しなくても少しずつ自然放電し、目安の走行距離まで走れないことがあります。

⇒乗車まえにバッテリーの残量確認を心掛けてください。

●そのほかにも、走行距離は、気象条件、路面の状況、自転車の整備具合、自転車の乗りかたなどにより、大幅に短くなる場合があります。

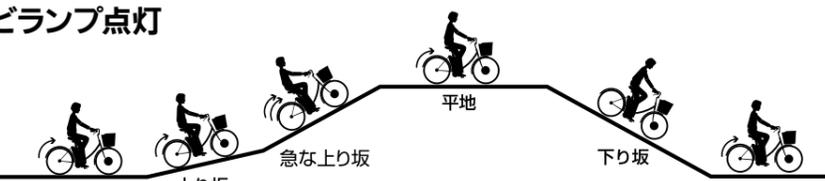
手元スイッチの操作方法

■アシストの強さを変える

アシストモード「ロング」・「オートマチック」・「パワー」の切り替えは、電源が入っていれば、アシスト切替ボタンを押すだけで切り替えができます。

アシストモード	説明
「パワー」 ① ↑ ↓	常にパワフルなアシスト力で、坂道や重い荷物を積んでいるときでも快適な走行ができます。
「オートマチック」 ① ↑ ↓	走行条件により、アシスト力を自動的にコントロールします。
「ロング」 ① ↑ ↓	走行条件により、アシスト力を自動的にコントロールし、さらにアシスト力を抑え、1回の充電で長距離走行が可能です。

●アシスト力の変化とエコナビランプ点灯



モード設定/走行条件	走行条件とアシスト力、エコナビランプ点灯状態						
	スタート	平地	上り坂	急な上り坂	平地	下り坂	平地
『パワー』	強 ○	強 ○	強 ○	強 ○	強 ○	アシストOFF ○	強 ○
『オートマチック』	強 ○	中 ●	強 ○	強 ○	中 ●	アシストOFF ○	中 ●
『ロング』	中 ●	弱 ●	中 ●	中 ●	弱 ●	アシストOFF ○	弱 ●

エコナビ点灯 ● エコナビ消灯 ○

お知らせ

- 消費電力が少ない走行時、エコナビランプを点灯してエコ運転走行をお知らせします。
- 坂道や重い荷物を載せて走行するときは、アシスト切替ボタンを押し、「パワー」にしてください。
- 電源を入れたときは、前回電源をOFFしたときのモードで起動します(オートメモリー機能)。
- アシスト切替ボタンの「△」と「▽」を押しすぎてもアシストモードは一巡しません。

エコナビ運転とは

走行状態をセンサーで感知し、自動でムダを見つけて省エネ走行する「エコナビ」機能です。走行条件により、最適なアシスト力を自動的にコントロールし、省エネ走行を実現しています。

非接触磁歪式トルクセンサー

アシスト量の調整に必要な「こぐ力」を検知する際、抵抗が加わらないセンサーを採用しています。バッテリー残量が無いときでも抵抗感無く、一般的な自転車と同じ感覚で走行できます。

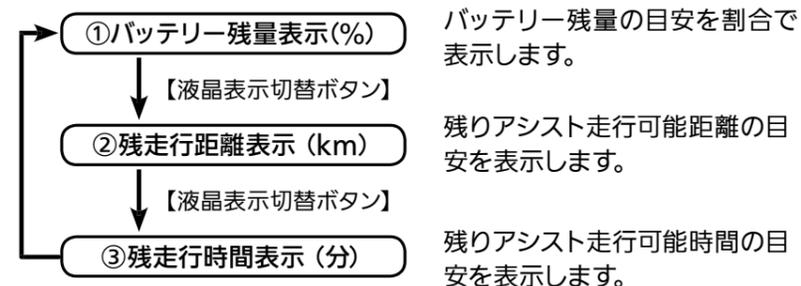
アシスト比率プログラム制御

走行条件により、最適なアシスト力を自動的にコントロールしています。

■あとどれくらい走れるかを見る

電源が入った状態で、液晶表示切替ボタンを押すと、「バッテリー残量表示」→「残走行距離表示」→「残走行時間表示」の順で、データを表示できます。

●液晶表示部の表示例



表示項目	表示例	表示例の説明
①バッテリー残量表示(%)	オートマチック 100%	バッテリー残量が、100パーセント満充電状態です。
②残走行距離表示(km) (残りアシスト走行可能距離)	オートマチック 30 km	残り30 kmアシスト走行可能です。 ※選択するアシストモードや実際の走行状況によって変わります。
③残走行時間表示(分) (残りアシスト走行可能時間)	オートマチック 128 分	残り128分アシスト走行可能です。 ※選択するアシストモードや実際の走行状況によって変わります。

※上記内容は表示例であり、実際の表示とは異なる場合があります。

お知らせ

- 電源を入れたときは、「バッテリー残量表示」から起動します。
- 残走行距離表示や残走行時間表示は目安となる数字です。実際の走行状況により異なる場合があります。

●1満充電当たりの走行距離を確認したい場合

- ①バッテリーを満充電にして自転車に装着してください。
- ②液晶表示切替ボタンで残走行距離表示にして、走行距離を確認してください。表示値は目安としてご使用ください。実際の走行状況により、40ページの測定値とは異なります。

ご注意

- 満充電時の残走行距離表示、残走行時間表示は、バッテリーの劣化状態(バッテリーは充放電を繰り返すと徐々に能力が低下し、走行できる距離が短くなります)により、最大値が小さくなります。

さあ、乗りましょう!

警告

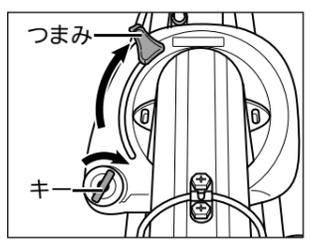
■スタンドを立てた状態では、乗車をしない
(ハンドルが固定されているため、転倒によるけがのおそれがあります。)
⇒スタンドを上げてから乗車してください。



■けんけん乗り(けり乗り)しない
(転倒や接触事故によるけがのおそれがあります。)
⇒必ずサドルにまたがって、発進してください。
●けんけん乗り(けり乗り)とは、片足でペダルをこぎながら助走し、反動を付けてサドルにまたがる乗りかたです。



1. 後輪サークル錠を開錠する



キーを差し込み、時計方向に回す。
(開錠時は、キーが付いたままになります。)

お願い

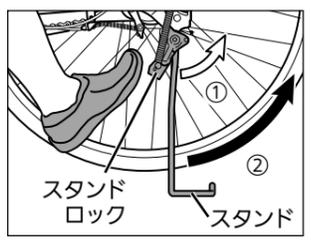
- スポークと後輪サークル錠が接触すると、スポークの変形・破損のおそれがあるので、必ずスタンドを立てた状態で、後輪サークル錠を開錠してください。

注意

■開錠時、つまみに指を近づけない
(衝撃でけがをす
るおそれがあり
ます。)



2. スタンドを上げ、ハンドルがスムーズに回ることを確認し、乗車する。



スタンドロックを解除し、スタンドを後方へ完全にはね上げる。

お知らせ

- スタンドを上げることにより、ハンドル固定が自動的に解除されます。

3. ペダルを踏まずに電源を入れる



手元スイッチにある電源ボタンを押す。
起動時は液晶表示部に「888」が表示され、約1秒後にバッテリー残量表示(%)に切り替わります。「888」表示の間は駆動ユニットの初期化をしているので、ペダルを踏まないでください。

お願い

- 液晶表示部に「ゲンテンエラー・E1」が表示されるときは、ペダルを踏まないで電源を入れ直してください。
- エラー表示が出なくても、ペダルを踏みながら電源を入れた場合、ペダル入力小さい状態と誤検出され、走行時、アシスト力が弱くなります(故障ではありません)。(P.56 ページ)



お知らせ

- 電源が入った状態で10分以上車両を放置したとき、自動的に電源が切れます(オートオフシステム)。再度走行するときは、電源を入れてください。

4. 発進する



ハンドルをしっかり握ってから、前後左右の安全を確認し、ペダルを踏んで発進する。(電動アシストシステムが働き、作動音がします。)

お願い

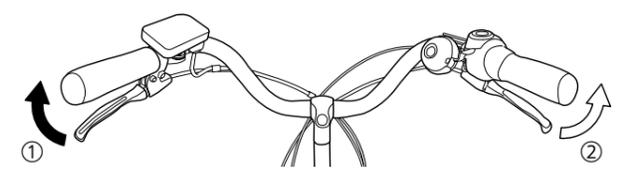
- 電源ボタンを押しても手元スイッチの残量表示部が点灯しないときは、バッテリーの充電や固定が確実にできているかを確認してください。
- 慣れるまでは、踏み始めおよび坂道を上がり終えた直後のアシスト力に注意してください。
- 土踏まずやかかとでペダルをこがないでください。
- 走行途中では電源を入れないでください。
- 停車中は、前後ブレーキをかけた状態にし、ペダルに足を乗せないでください。
- 走行中に異常な音がした場合は、乗車を中止し販売店へ相談してください。

お知らせ

- 走行中は、ラジオなどに雑音が入る場合があります。
- ペダルに足を乗せた状態での停車時に振動を感じる場合がありますが、駆動ユニット固有の特性によるもので、故障ではありません。
- スピードメーターなどのワイヤレス式の機器を使用すると、誤表示となる場合があります。
- 冬期に雨や雪が直接かかる場所での駐輪は、気温低下に伴い、サークル錠シリンダー内に入った水分が凍結し、一時的に開錠できなくなることがあります。水分がとけると、開錠できます。できるだけ、雨や雪がかかりにくい場所に駐輪してください。

ブレーキのかけかた

- ①後ブレーキを先にかけてから
- ②前ブレーキをかける。



お願い

- 急な坂道のときは、降りて押ししてください。
- 下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度が出すぎないように走行してください。
- 下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。
- 急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。

さあ、乗りましょう!(つづき)

荷物やお子さまを乗せるとき

■変速のしかた



警告

■スピードをだしすぎない



(衝突や転倒による事故の原因となります。)

禁止

■一度に2段変速しない



(一気に変速すると、ショックが大きくなり、転倒によるけがのおそれがあります。)
⇒1段ずつ変速してください。

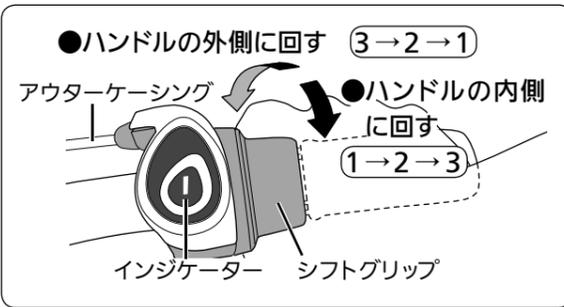
禁止

■ペダルを踏み込みながら変速しない



(変速操作に対し、実際のギヤの切り替えが遅れ、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。)

禁止



変速位置	ペダルの回転が	
	軽くなる	重くなる
1	↑	↓
2	↑	↓
3	↑	↓

お知らせ

●シフトグリップを操作すると、位置決めが軽い手ごたえがあり、その位置が、適正ポジションになります。

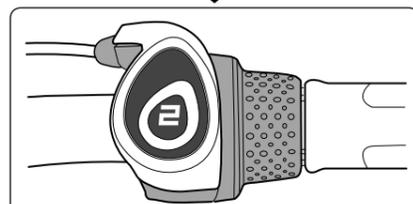
お願い

- 変速操作は、よく練習してください。
- シフトグリップを無理に回す変速はしないでください。(変速機を傷める原因になります。)
- 変速するときは、足を止めるか踏む力を抜いてください。

■変速機の上手な使いかた



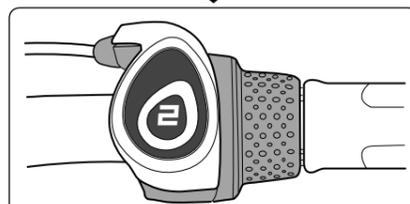
平地
を走るとき...



シフトを2(または3)の位置に合わせる
発進するときは、1に合わせると楽です。



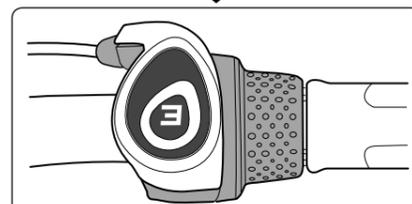
上り坂
のとき...



上り坂の手前で...
シフトを2(または1)の位置に合わせる
きつい上り坂のときは、1に合わせると楽です。



下り坂
のとき...



下り坂の手前で...
シフトを3の位置に合わせる

楽な走行をするには...

- タイヤの空気圧はいつも適切にしてください。(P.37 ページ)
- 軽めの変速位置を選んでください。(特に発進と上り坂。)
- 変速機やアシストモードは、坂や風の状態、体調などによって、最適な位置を選んでください。

お願い

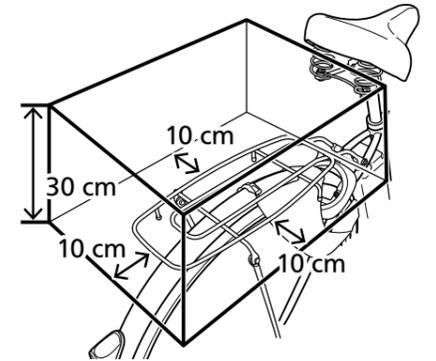
- 上記は推奨変速位置です。標準的な変速位置を示していますが、自分の体調や脚力に合わせて、適切な変速位置をお選びください。

■積載条件

最大積載質量	
バスケット	リヤキャリア
3 kgまで	27 kgまで(クラス表示 27) チャイルドシートの質量と幼児の体重を合わせて 27 kgまで乗せることができます。

ただし、チャイルドシートの取扱説明書に体重制限がある場合はチャイルドシートの取扱説明書に従ってください。

積載物の大きさ限度	
バスケット	リヤキャリア
バスケットにおさまる大きさ (前方が見やすい高さまで)	幅 : リヤキャリアの幅プラス左右各 10 cm まで 長さ : リヤキャリアの長さプラス 10 cm まで 高さ : リヤキャリアから 30 cm まで



お願い

- 荷物の運搬には、バスケットおよびリヤキャリア以外は使用しないでください。
- 最大積載質量以上の荷物を積まないでください。劣化度合が大きくなり、場合によってはバスケット、リヤキャリア、フレームなどが破損するおそれがあります。
- リヤキャリアを交換される場合は、当社純正品 ELD432 : NCR1555, ELD632 : NCR1554, ELDS632 : NCR1565 をご使用ください。当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。(純正以外の部品を取り付けられた場合、強度の不足や、シートピンのねじ長さ不足によるシートピンの破損、操縦性の低下による転倒のおそれがあります)

お知らせ

- 荷物の積載量が増えると、バッテリーの電力消費が増え、アシスト走行できる距離が短くなります。また、タイヤなどの消耗品の劣化が激しくなります。

チャイルドシートについて

お知らせ

- この自転車は、幼児2人同乗用自転車ではありません。ハンドル部、リヤキャリアにオプションのチャイルドシートを取り付けることができますが一度に乗せることができる幼児は1人だけです。
- お子様の適用範囲の記載および取扱説明書の記載を守らない場合や、6歳以上の児童を同乗させることは、道路交通法違反となり、SGマーク制度の賠償対象外となるおそれがあります。
- 16歳未満の方は、幼児を乗せて使用することは法令で禁止されています。
- 取り付け可能なチャイルドシートの種類は以下のとおりです。
ハンドル 取付式 : 年齢 1歳(12か月)以上、4歳(48か月)未満、体重 15 kg 以下で身長 100 cm 以下の幼児を乗せることができるチャイルドシート (15 kg 以下用)
リヤキャリア取付式 : リヤキャリアには、チャイルドシートの質量と幼児の体重を合わせて 27 kg まで乗せることができます。ただし、チャイルドシートの取扱説明書に体重制限がある場合は、チャイルドシートの取扱説明書に従ってください。

※チャイルドシート(オプション)に貼付されたSGマークは、チャイルドシートの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。(新品で購入した日より3年間)

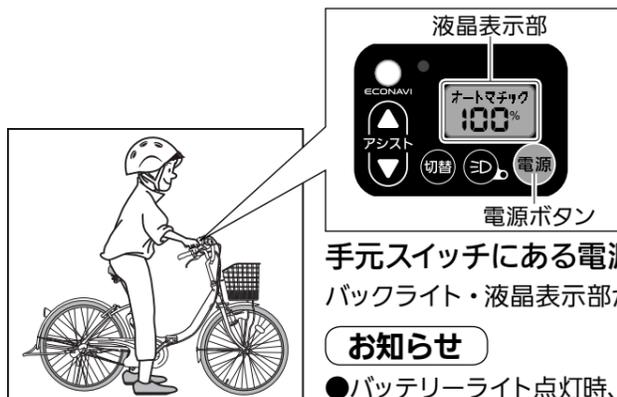
お願い

- ハンドルにチャイルドシートを取り付けた場合、前方の視界および下方の視界が低下するおそれがありますので、チャイルドシートの取り付けは販売店にご相談ください。
- チャイルドシートは当社の純正チャイルドシートをご使用ください。(当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は保証の対象外となります。61 ページ)



乗ったあとの駐輪・施錠

1. 自転車から降りるまえに手元スイッチの電源を切る

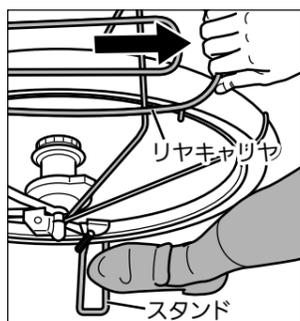


手元スイッチにある電源ボタンを押す。
バックライト・液晶表示部が消灯します。

お知らせ

●バッテリーライト点灯時、電源を切ると、ライトは消灯します。

2. 駐輪する



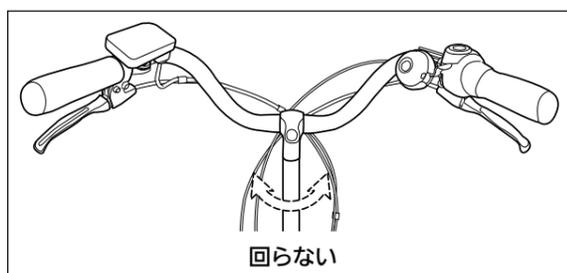
ブレーキを握ったまま、サドルから降りる。
スタンドを足で踏みながら、リヤキャリアを手で引っ張り、スタンドを立てる。

(スタンドロックが自動的にかかったことを確認してください。)

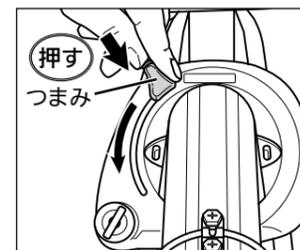
お願い

- スタンドを立てた状態で、無理な力を加えないでください。(自転車を引きずったり、重いものを乗せたりしないでください。)
- スタンドを立てた状態で、無理なハンドル操作を行わないでください。前車輪旋回抑制機構が壊れる原因になります。

3. ハンドルが固定されたことを確認する



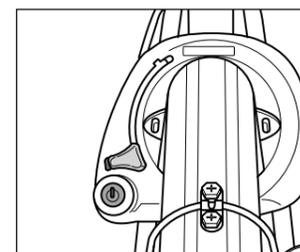
4. 後輪サークル錠を施錠する



後輪サークル錠のつまみを押し込みながら下へ止まるまで回す。

お願い

- スポークと後輪サークル錠が接触すると、変形・破損するおそれがあるので、必ず車輪の回転が止まってから、後輪サークル錠を施錠してください。



キーを抜く。

お願い

- 盗難防止のため、キーを付けたまま駐輪しないでください。
- 駐輪場など、決められた場所に駐輪してください。

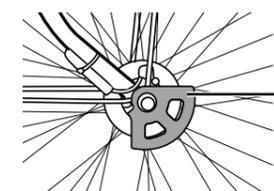
■駐輪場をご使用になるときは

駐輪時、駐輪レーン上の車輪止め高さにより、駐輪設備に適應しない場合があります。駐輪場にてご確認の上、ご使用ください。

●駐輪レーン上の車輪止め高さのご確認のしかた

駐輪レーン上の車輪止めの形状によってはホイールセンサーが、車輪止めに接触する場合があります。事前に、車輪止めに車輪を入れるとき、また駐輪中に自転車を左右および斜めに倒しても車輪止めにホイールセンサーが接触しないかご確認ください。接触する場合は駐輪レーン付駐輪場のご利用はお控えください。ホイールセンサーが変形したり破損したりするおそれがあります。

※上記の対応として、一部の車種にはホイールセンサーガードをご用意しております。

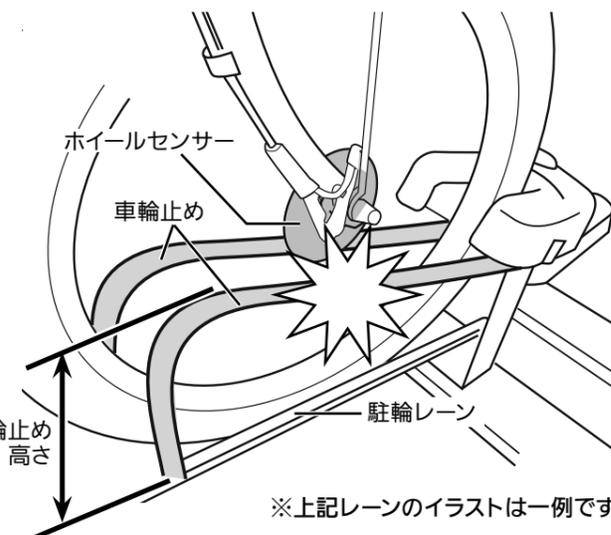


※取り付けは販売店にご依頼ください。

※参考のため、当社ホイールセンサー装着機種のホイールセンサー下端までの高さを、当社ホームページ(<http://cycle.panasonic.jp/>)に掲載していますので、ご参照ください。

●ホイールセンサーが変形・破損した場合

ホイールセンサーが、がたついている、割れている、フロントフォークと接触しているなど、変形、破損した場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。(破損したまま走行すると、手元スイッチにエラー表示が点灯する場合があります。)



※上記レーンのイラストは一例です。

バッテリーについて

バッテリー

■バッテリーの種類

- この自転車には、メモリー効果の心配が無く、軽量で安全性に優れたリチウムイオンバッテリーを搭載しています。

品番

- 仕様をご確認ください。(P.62 ページ)

お知らせ

- バッテリーは標準品もしくは互換性のある当社製バッテリーを使用してください。(互換性のあるバッテリーについては、販売店にご相談ください。)

■バッテリーの容量表示

- バッテリー本体のPSEマーク部に表示している容量表示数値(8 Ah, 12 Ah)は電気用品安全法(PSE)においてJIS C8711で規定された試験での測定容量値を定格容量値として表示しています。
- バッテリーのPSEマーク部以外の部分、取扱説明書、カタログの容量表示数値は実走を想定した社内試験条件放電での平均値(8 Ah, 12 Ah)を容量値として表示しています。

■バッテリーの交換・廃棄

- お買い求めの販売店にご相談ください。



大部分の素材がリサイクル可能です。貴重な資源を守るために、使用済みの充電式リチウムイオンバッテリーは、廃棄しないで販売店にお持ちいただくリサイクル協力店にご相談ください。弊社は小形充電式バッテリーの回収・リサイクルを実施する「一般社団法人 JBRC」に参画し、リサイクル活動を推進しています。リサイクル協力店をお探しの場合は下記ホームページよりご検索ください。(http://www.jbrc.com)

■交換時期の目安

- バッテリーは充放電を繰り返すと徐々に能力が低下し、走行できる距離が短くなります。目安として、700～900回の充放電で購入時の約半分になり、使いかたによっては交換が必要になります。

お知らせ

- 1回の満充電で、走行できる距離が著しく短くなったときが、交換の時期です。(購入時の約50パーセント以下)
- 冬期(約5℃以下)や寒い環境下では、1満充電あたりの走行距離が短くなります。この現象はバッテリーの特性で、気温が高くなると走行距離は元に戻ります。
- バッテリー交換時期の目安と、製品の保証期間とは関係ありません。

■バッテリーの長期保管

- 電動アシスト自転車からバッテリーを取り外し、満充電して保管してください。
- 周囲気温が0℃～40℃の場所で保管してください。
- バッテリーの劣化を抑えるため、最低3か月に1回は充電してください。
- バッテリーの残量表示ボタンを押した場合、LEDランプが点灯しないときは、保護回路が働いています。バッテリーを充電器にセットし、充電状態にすると解除されます。
- 長期間保管後、再使用する場合、あらかじめバッテリー残量を確認し不足しているときは、必ず充電してください。

お知らせ

- バッテリーが劣化する条件(以下のような条件では劣化が早まります。)
 - ・放置期間が長く、使用頻度が低いとき
 - ・バッテリー残量が少ない状態で長期間放置したとき
 - ・高温になる場所で充電を繰り返したり、保管したりしたとき

バッテリーの特別保証について

■保証期間および保証対象

1. 電動アシスト自転車用リチウムイオンバッテリーの特別保証期間

バッテリーお買い上げ日から2年間(業務使用は除く)

保証対象：* 電動アシスト自転車用バッテリーの材料、製造の不具合

保証条件：* 保証期間内に満充電回数700回以下で、初期容量の50パーセント以下に劣化した場合

2. 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。

(イ) 保証対象外となる症状

(1) 満充電回数700回を超える使用でのバッテリー劣化(初期容量の50パーセント以下となったもの)

(2) バッテリーの特性による使用環境、天候、積載条件などに起因する1満充電あたりの走行距離低下(一時的なものを含む)

・ 外気温が低い冬期に、1満充電での走行可能距離が夏期使用時より少なくなる現象

・ 上り坂が多い、発進頻度が高い、積載量を含む総重量が重いことによる1満充電での走行距離が短くなる現象など

(3) バッテリーの温度特性またはシステム保護のための一時的なアシスト力低下

・ 外気温が10℃以下の冬期使用時に、一時的にアシスト力が低下する現象

・ 外気温が高い夏期に、長い坂道を登ったり、重い荷物を積載して走行したりした場合、システムの保護のためにアシスト力が低下する現象など

(4) バッテリーの温度特性またはシステム保護のための充電の一時的な中断・待機の現象(回生充電も含む)

・ 気温0℃以下の低温、夏の直射日光が当たる場所や走行直後の高温時に充電した場合、充電の中断または待機になる現象など

※ 上記(1)～(4)のバッテリー特性について、詳しくは本書の「走行距離が短くなる環境 / 使いかた」、「バッテリーについて」をご確認ください。

(ロ) 誤った使用および不当な修理やバッテリーの分解、バッテリー内部部品の交換、バッテリーパック内部セルの直はんだなどの改造・加工をしたバッテリーを弊社電動アシスト自転車に使用されたことが原因で発生する故障および損傷

(ハ) 落下や水の浸入などの取り扱いの誤りによる故障および損傷

(ニ) 業務用(荷物運搬・新聞配達など)、営業用(レンタサイクルなど)、不特定多数で使用された場合の故障および損傷

(ホ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害など、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷

(ヘ) 保証書のご提示が無い場合

(ト) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合

お手入れ／注油について

わからないときは、販売店にご相談ください。

お手入れ

■日常のお手入れ

- 乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
- 洗車は、しないでください。
- がっこな汚れには、台所用洗剤(中性)を薄めてご使用ください。



■次のような場所では、

- 〈湿気が多い場所・海岸沿い・工場地域・エアコンの室外機のそば・自動車の排気ガスのかかる所・鉄道の線路際など〉
- さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

■ステンレス部品

- ステンレスはさびにくい金属ですが、使用条件や環境によってさびることがあります。下記の点にご注意の上ご使用ください。
 - ステンレスに付着した鉄粉などが、さびることによって「もらいさび」が発生しますので、お手入れを頻繁に行ってください。(例：鉄道や鉄工所の近辺での保管車、後車輪周りのステンレス部品など)
 - ステンレスは塩素にも弱く、さびることがあります。塩分や塩素系の洗浄剤が付着したときは、乾いたあとでもさびが発生しますので、水を含んだ布などでしっかりふき取ってください。

お願い

- 長期間ご使用になった場合、車体側接続端子の表面に汚れや酸化物が付着し、バッテリー端子との滑が悪くなり、バッテリーの取り外しが固くなることがあります。バッテリーの取り外しが固くなったときは、乾いた布で車体側接続端子の汚れや酸化物をふき取ってください。このとき、金属製のものを使用しないでください。ショートして感電・火災のおそれがあります。ふき取っても汚れが取れないときは、販売店に依頼し、車体側接続端子を交換してください。
- バッテリーケースの汚れは、水を含んだ布などでふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、ガソリンなどの石油類薬品、酸性・アルカリ性の洗剤などは使用しないでください。(塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されたりします。)
- サドルには、ワックスをかけないでください。(座ったとき衣服が汚れたり、滑ったりします。)

⚠ 注意

■駆動ユニットやバッテリー、手元スイッチ、バッテリーライトなどの電装部品や回転部(前後ハブ、ヘッド部など)には直接圧力がかかるような洗車や、水をかけながらの洗車はしない

(水が入った場合、故障による異常動作によりけがの原因となります。)
⇒本自転車は生活防水性能を備えていますが、万一、駆動ユニット、バッテリーなどが水につかった場合は、直ちに使用を中止して販売店にご相談ください。

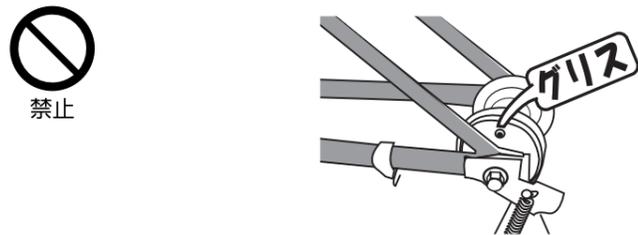


禁止

注油について

⚠ 警告

■ローラーブレーキグリスの補給には、ローラーブレーキ専用グリス以外は使用しない



(制動力が低下し、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。)
⇒販売店でローラーブレーキ専用グリス(当社品番：NBP002)を補給してください。

注油場所と注油禁止場所

このマークは、注油場所を示します。

このマークは、注油禁止場所を示します。

お願い

- 油の種類は、必ず、自転車用油を使用してください。(食用油などは、硬化するおそれがあります。)
- 余分な油は、乾いた布でふき取ってください。

ブレーキレバー<前・後>

レバーの可動部とワイヤの固定部に注油。(ワイヤがさびて、切れやすくなるのを防ぎます。)

シートポスト

後輪サークル錠

後ブレーキ

お願い
●メンテナンスをする場合は専用グリスを使用してください。(P.30～31 ページ)

バッテリーロック

キー穴に注油。(さびによる動作不具合を防ぎます。)

前ブレーキ (ブレーキブロック)

スタンド

可動部にグリス塗布。スタンドロックの裏側の2本のカシメ部分。バネ引っ掛け部。

リム<前・後>

チェーン

クランクを回しながら注油。(チェーン・ギヤのさびつき、摩耗を防ぎます。)
余分な油はふき取る。(油汚れやほこりの付着を防ぎます。)

タイヤ<前・後>

付いた油は、すぐにふき取る。(ひび割れなど老化を防ぎます。)

テンションプーリー

テンションプーリーのバネ部、回転部に注油。

チェーンケース

付いた油は、すぐにふき取る。(変色や塗装がはげるのを防ぎます。)

必要なとき

必要なとき

定期点検



- ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する
- タイヤは、接地面(トレッド)の溝がなくなるまえに交換する



必ず守る



(ブレーキが利かなくなり、スリップのため転倒によるけがのおそれがあります。)

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後、初めての初回(2か月以内)点検と、6か月ごとの定期点検の実施をお願いします。(裏表紙の点検・整備チェックリストにて実施をお願いします。)
※定期点検・整備の料金は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

●初回(2か月以内)の点検と整備

お買い上げ2か月ぐらいのご使用で、各部にねじの緩みが出ることがあります。
必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士(自転車組立整備士)、もしくは同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

●2回目以降(6か月ごと)の点検と整備

安全にご愛用いただくため、販売店に依頼し必ず継続してお受けください。

リチウムイオンバッテリー

愛情点検

●長年ご使用のリチウムイオンバッテリーの点検を!



こんな症状はありませんか

- 充電中、異常な音がする
- リチウムイオンバッテリーが異常に熱い
- こげくさいにおいがする

ご使用中止

このような症状のときは事故防止のため、自転車・充電器から外して、必ず販売店に点検をご相談ください。

自 転 車

愛情点検

●定期点検をし、安全走行をしましょう!



こんな症状はありませんか

- 異常な音がする
- がたつきや緩み
- 車輪の振れ
- ブレーキの利きが悪い

ご使用中止

事故防止のため、必ず販売店に点検、整備を依頼してください。

この自転車は一般社団法人自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

自転車安全基準

一般社団法人自転車協会が消費者の安全第一と環境負荷の低減を目的として定めた基準です。
JIS(日本工業規格)をベースに、EN(ヨーロッパ規格)など海外の規格やヨーロッパの環境負荷物質に関する規制(RoHS指令)に基づいています。

BAAマーク



BAAマークが貼付された自転車は、安全で長持ちする自転車を目標に、一般社団法人自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。
万が一製造上の欠陥で事故が発生した場合は、製造・輸入業者の責任で補償いたします。
事故が発生した場合は、販売店にご連絡ください。
※一般社団法人自転車協会が直接利用者の皆様への補償をいたすものではありません。
「BAAマーク」は、自転車のバッテリーロックキー付近に貼り付けられています。
※BAA=自転車協会認証-BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

点検整備済TSマーク(保険付き)のご紹介



- 工場出荷時に貼り付けているTSマーク(22ページ)には、保険は付帯されていません。
- 傷害保険と賠償責任保険が付帯された保険付きTSマーク(左図)が別にあり、お客様のご希望により貼り付けることができます。
- 保険付きTSマークは、自転車安全整備店(TSマーク取扱店)で点検整備を行い、基準に適合した自転車であることを確認した上で貼ることができます。
- 費用や保険内容など詳細は、お買い求めの販売店もしくは自転車安全整備店(TSマーク取扱店)にご相談ください。

お願い

- 点検 年 月 日が記入されていない場合は、必ず、お買い求めの販売店に記入してもらってください。記入されていない場合は、補償されないときがあります。

故障かな？

まず、次の表に従ってお調べいただき、直らないときは、お求めの販売店に修理をご依頼ください。

症状	対処方法	ページ
手元スイッチの液晶表示部が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●バッテリーが確実に取り付けられていますか？ ⇨バッテリーを確実に取り付けてください。 ●バッテリーの残量表示ボタンを押したときに、2・4番目のLEDランプが点滅すれば、保護機能が働いています。 ⇨バッテリーを充電してください。 	26 24～26
バッテリーの残量表示ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●バッテリーの残量表示ボタンを押しても、LEDランプが点灯しないときは、保護機能が働いています。 ⇨バッテリーを充電してください。 ※充電しても表示が戻らない場合は販売店にご相談ください。 	24～26
手元スイッチの液晶表示部が早い点滅をしたり、点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●充電ができていますか？ ⇨バッテリーを充電してください。 	24～26
手元スイッチの液晶表示部に『ゲンテンエラー／E1』が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●ペダルを踏みながら、電源ボタンを押しませんでしたか？ ⇨ペダルを踏まないで、電源ボタンを押し、電源を入れてください。 	44
手元スイッチの液晶表示部に『ツウシンエラー／E5』が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●手元スイッチと駆動ユニットの間の通信異常です。 ⇨販売店に修理をご依頼ください。 	—
手元スイッチの液晶表示部に『ユニットエラー／E9』が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●駆動ユニットの異常です。 ⇨販売店に修理をご依頼ください。 	—
手元スイッチの液晶表示部に選択中のモードとエラー表示(下記【エラー表示参照】)が交互に点滅表示する【エラー表示の種類】 『M1 オーバーヒート』 『M2 オーバーヒート』 『B1 オーバーヒート』 『B2 オーバーヒート』	<ul style="list-style-type: none"> ●駆動ユニットが過負荷のため、保護モードに入っています。 ⇨変速を「1」にし、軽負荷で走行してください。しばらくすると正常に戻ります。 ※(炎天下での乗車など)保護モードに入るとアシスト力が制限されます。そのまま走行していただいても問題ありません。表示が戻らない場合は販売店にご相談ください。 	—
補助(アシスト)が切れたり入ったりする	<ul style="list-style-type: none"> ●配線が緩んでいたり、端子が汚れていたりしませんか？ ⇨販売店にご相談ください。 	—
補助(アシスト)が弱い	<ul style="list-style-type: none"> ●ペダルを踏みながら、電源ボタンを押しませんでしたか？ ⇨電源ボタンを押して、電源を入れ直してください。 	44
補助(アシスト)しない	<ul style="list-style-type: none"> ●停止して10分以上たっていませんか？(オートオフシステム) ⇨電源ボタンを押して、電源を入れ直してください。 	44

必要なとき

症状	対処方法	ページ
走行距離が短い 手元スイッチの液晶表示部が短い走行で点滅を始める	<ul style="list-style-type: none"> ●充電ができていますか？ ●長期間使用せずに、放置されていませんか？ ⇨バッテリーを充電してください。 ●初めて使用するバッテリーではないですか？ ⇨バッテリーを充電してください。 ●道路条件や変速位置、41ページに記載しているような走行により、走行距離が、短くなります。 ●冬期は、バッテリーの特性で性能の低下が大きくなります。 ●タイヤの空気圧が低下していませんか？ ⇨自転車用ポンプを使って空気を入れてください。 ●ブレーキの調整は正しくできていますか？ ⇨ブレーキの調整を販売店に依頼してください。 ●繰り返しの充電や長時間の使用でバッテリーは劣化(性能低下)します。 ⇨1回の充電で走行できる距離が著しく短くなった場合(新品時の約50パーセント以下)は、新しいバッテリーに交換してください。 	24～26 24～26 40～41 41 37 30～31 50
充電できない バッテリーの残量表示ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●バッテリーが充電器に正しく挿入されていますか？ ⇨バッテリーを充電器に正しく挿入してください。 ●充電器のバッテリー挿入部が汚れていませんか？ ⇨汚れを取り除いてください。 ●走行直後ではありませんか？ ⇨走行直後はバッテリーの温度が上昇し、充電できない場合があります。温度が下がるまでお待ちください。 <p>＜バッテリーの残量表示ボタンを押して確認＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ランプが5つ点灯 ⇨満充電のため、再充電はできません。一度使用してから、充電してください。 ●1・3・5番目のランプが同時に点滅 ⇨高温・低温による充電停止です。温度が常温に戻るまでお待ちください。 ●ランプが流れるように点滅 ⇨バッテリーの故障が考えられますので販売店にご相談ください。 	24～26 —

必要なとき

症状	対処方法	ページ
バッテリーや充電器が熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> ●充電中、充電器は多少熱くなります。 ⇒異常ではありません。 ●手で触れられないほど熱い場合は、異常です。 ⇒直ちに使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。 	—
充電が完了したのに残量表示ランプが5個全部点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●充電途中で電源プラグを抜きましたか? ⇒再度充電してください。 ●充電器の端子が汚れていませんか? ⇒乾いた布などで清掃してください。 ●長期間使用されたバッテリーですか? ⇒バッテリーの寿命です。販売店にご相談ください。 	24～26
ペダルに振動を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ●ペダルに足を乗せた状態での停車時に振動を感じる場合がありますが、モーター固有の特性です。故障ではありません。 	—
走行中、手元スイッチの液晶表示部に『S センサエラー / E2』が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●ホイールセンサーが正しく信号を検出できていません。 ⇒電源を入れ直してください。直らない場合は販売店にご相談ください。 <p>※スタンドを立てた状態(両立スタンド装着車の場合)でペダルをこぐと、『S センサエラー / E2』が表示される場合があります。電源を入れ直すか、実際に走行すると元に戻ります。</p>	—
充電器のプラグをコンセントに差し込むと火花が散る	<ul style="list-style-type: none"> ●充電器は正常なものでも火花が発生する場合があります。 ⇒電気は直流・交流にかかわらず回路が成立する直前(金属が触れる直前)から流れ始めるため、電圧・電流の違いにより必ず大小の火花は出ております。スイッチ付電源タップをご使用の場合、OFFにして接続し、ONにすると火花は発生いたしません。ただし、コンセント端子以外から火花が発生している場合は製品の異常が考えられます。販売店にご相談ください。 	25

ご注意

- S センサエラー、M1・M2・B1・B2 オーバーヒートの複数エラーが発生した場合、それぞれ「S、M1、M2、B1、B2」と省略して表示する場合があります。

運搬



警告

■自転車運搬するときはバッテリーを外す

- (自動車への積載時など、運搬の際に不意にペダルが押された場合にセンサーが感知し、車輪が回転し、巻き込まれてけがをすることがあります。)
- 必ず守る



注意

■サドルを持ち上げて移動させない

- (サドルが破損し、けがをすることがあります。)
- 禁止

お知らせ

- リチウムイオンバッテリーは危険物であるため、基本的には公共交通機関への持込や飛行機や船での輸送は禁止されています。ただし、輸送・公共交通事業者によっては、制限を設けた上で、輸送(輸行)可能な場合があるため、事前に利用しようとする事業者にお問い合わせください。

保管／廃棄

■保管場所(下記の場所に保管してください。)

- 安定の良い所。 ●風通しが良く、湿気の少ない所。
- 雨つゆや直射日光が当たりにくい所。

お知らせ

- バッテリーのケースや樹脂カバー類で白色や淡い色の物は、長期間の使用により変色や色あせが生じます。それを緩和するため、日の当たらない所での保管や「サイクルカバー(☎ 61 ページ)」の使用をお勧めします。



注意

■台風など雨風が強い屋外で自転車を横倒しにして保管しない

- (モーターやバッテリー内部に水が浸入し、異常動作によりけがの原因となります。)
- 禁止

■タイヤの管理

- 空気を適正空気圧まで入れてください。(☎ 37 ページ)

■長期間保管する場合

- ごみやほこりが付くのを防ぐため、「サイクルカバー(☎ 61 ページ)」の使用をお勧めします。
- 長期間、バッテリーを取り外したままにするときは、汚れやほこりが付かないように、「端子カバー(☎ 61 ページ)」を装着してください。(端子カバーを装着したまま走行しないでください。落下して破損するおそれがあります。)

■バッテリーの保管

- バッテリーの保管については 50 ページをご覧ください。

■廃棄するとき

- 自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。
- 使用済みの充電式バッテリーは、お早めに販売店にお持ちいただきリサイクル協力店にご相談ください。(資源有効利用促進法に基づき、貴重な資源を守りましょう。)
- 使用済みの電動アシスト自転車用充電器は、お住まいの地域のルールに従ってください。

盗難補償

電動アシスト自転車をお買い求めいただいたお客様で、ご購入日より3年以内に盗難にあわれた場合、盗難補償制度が適用されます。盗難補償制度とは、盗難車本体(充電器を除く)希望小売価格(税抜)の30パーセントとその組み立て手数料4,000円(税抜)で、盗難車と同タイプの新車をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記のとおりです。※本体希望小売価格と手数料には消費税は含まれておりません

ご購入時、CLUB Panasonicにてご愛用者登録をいただくか、ご愛用者登録はがきに必要な事項をご記入の上、パナソニック サイクルテック愛用者登録係にご返送いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償が受けられます。

(1) 盗難補償の期間と範囲

お買い求めの日から3年間の自転車(別売部品などを含む装着部品の盗難は除く)かつ、盗難日より90日以内に申し込みいただいた場合に限りです。

(2) 盗難補償の内容

- お客様のご負担
- ① 充電器を除く本体希望小売価格(税抜)の30パーセント
 - ② 組み立て手数料 4,000円(税抜) 2015年12月現在
 - ※ 本体希望小売価格と手数料には消費税は含まれておりません

(3) 盗難補償の申し込み要領

- 提出書類など
- ① 盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの(警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書など)
 - ② 盗難車の保証書
 - ③ 盗難車のキー(3本)
 - ④ 盗難補償申込書(販売店が用意いたします。)
- 申し込み先
- お買い求めの販売店へ現金を添えて、お申し込みください。追って、販売店から新車をお渡しいたします。

(4) 盗難車の所有権

盗難車が発見された場合は、その所有権は当社に帰属することを同意の上お申し込みください。

(5) 盗難補償ができない場合

- ① 施錠せず盗難にあった場合
- ② (3)の書類およびキーがそろわない場合
- ③ 防犯登録がされていない場合
- ④ 補償期間が過ぎている場合
- ⑤ 景品などの贈呈品の場合
- ⑥ 盗難補償車が再度、盗難にあった場合
- ⑦ 愛用者登録をされていない場合
- ⑧ 盗難車が見つかり、返ってきた場合

ご注意

- 生産などの都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。

取り付けのポイント

- 安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。(当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。)
- オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取り付けの際に、販売店にご確認ください。(掲載している品番は2015年12月現在のものです。)
- 価格など詳細については、販売店にご相談ください。

チャイルドシート(後用) (P.10~11ページ)

NCD337AS(ブラック) ヘッドレストスライド式<BE-ELD432/632>

NCD366AS(ブラック・ブラック) <BE-ELDS632>

年齢1歳(12か月)以上、6歳(72か月)未満、体重22kg以下で身長115cm以下 SG規格合格品
※チャイルドシートを取り付ける場合はドレスガードを必ず組み付けてください。

チャイルドシート(前用) (P.10~11ページ)

NCD336A(ブラック) ヘッドレストスライド式<共通>

年齢1歳(12か月)以上、4歳(48か月)未満、体重15kg以下で身長100cm以下 SG規格合格品

カジュアルチャイルドシート(後用)

NCD363AS(ブラック) ヘッドレスト調整無し<BE-ELDS632>

年齢1歳(12か月)以上、6歳未満(72か月)、体重22kg以下で身長115cm以下用 SG規格合格品

直付けサドル

NSS2220S(ブラウン) <共通>

NSS2221S(ブラック) <BE-ELD432/632>

リヤバスケット (P.9・47ページ)

SCB207AS(ブラウン) / SCB208AS(ガンメタリック) <BE-ELD432/632>

NCB2024(ブラウン) <BE-ELDS632>

ぴったり防止ネット

SAR114AT(ブラウン) <共通>

SAR114AB(ブラック) <BE-ELD432/632>

幼児用自転車ヘルメット

GH034M(ピンク) / GH034V(ブルー) <共通>

サイズ:47cm~51cm
質量:210g

バッテリー(交換用)

	16 Ah	12 Ah	8 Ah
ブラック	NKY538B02	NKY536B02	NKY534B02
ホワイト	NKY539B02	NKY537B02	NKY535B02

お知らせ

- 2015年モデル以前のバッテリーとは互換性ありません。
- バッテリー互換性(容量アップダウン)については、当社ホームページでご確認いただけます。 <http://cycle.panasonic.jp/>

スタンド式専用充電器

NKJ069Z

端子カバー

NAH413(ブラック) <共通> (P.24~25ページ)

サイクルカバー

SAR139(リヤバスケット装着未対応仕様) <共通>
SAR140(リヤバスケット装着有対応仕様) <共通>

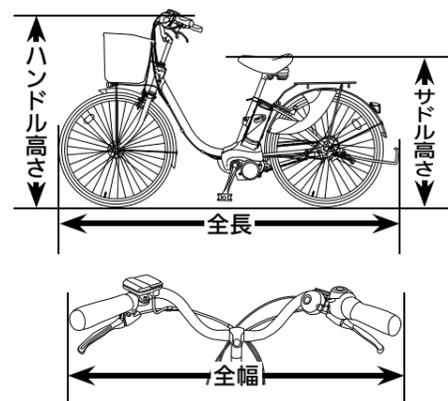
仕様

アフターサービス

品名		ビビ・DX		ビビスタイル
品番		BE-ELD432	BE-ELD632	BE-ELDS632
寸法	全長	1,775 mm	1,875 mm	1,875 mm
	全幅	580 mm		
	ハンドル高さ	990 mm ~ 1,035 mm	1,035 mm ~ 1,080 mm	995 mm ~ 1,040 mm
	サドル高さ	715 mm ~ 870 mm	740 mm ~ 895 mm	740 mm ~ 895 mm
	タイヤ	24 × 1 ³ / ₈ WO	26 × 1 ³ / ₈ WO	26 × 1 ³ / ₈ WO
	軸間距離	1,120 mm	1,165 mm	1,165 mm
総車両質量 (バッテリーを含む)		26.8 kg	27.7 kg	28.3 kg
フレーム		U形		
ハンドルバー		中上がり		プロムナード
バスケット		標準装備		
リフレクター		バスケット下・後どろよけ・前後車輪・ペダルに取り付け		バスケットステー・後どろよけ・前後車輪・ペダルに取り付け
スタンド		両立スタンド		
リヤキャリア		標準装備(クラス 27)		
補助速度範囲 変速 ^③ の位置		24 km/h 未満		
充電1回の走行距離 (標準パターン)		44 km* (アシストモード:「パワー」使用時)		30 km* (アシストモード:「パワー」使用時)
モーター形式 定格出力		直流ブラシレスモーター 250 W		
補助力制御方式		踏力比例制御		
バッテリー	品番	NKY536B02(ブラック)・NKY537B02(ホワイト)		NKY534B02(ブラック)
	種類	リチウムイオンバッテリー		
	容量	25.2 V - 12 Ah** (21 cells)		25.2 V - 8 Ah** (14 cells)
	質量	約 2.3 kg		約 1.9 kg
	ワット時定格量	303 Wh		202 Wh
充電器	品番	NKJ069Z		
	形式	スタンド型		
	電源	交流 100 V(50 Hz / 60 Hz)		
	充電時間	約 4.5 時間		約 3.5 時間
	質量	約 0.9 kg		
	消費電力	約 110 W		
	待機消費電力	約 0.5 W		
充電できる バッテリー		☎ 61 ページ オプション バッテリー(交換用)をご参照ください		
変速機方式		内装 3 段シフト		
駆動方式		クランク軸上合力発生一体型		
制装置	前輪	サイドプル形キャリアブレーキ		
	後輪	ローラーブレーキ		
照明装置		バッテリー式前照灯		
施錠方式		後輪サークル錠		
乗車適応身長		138 cm 以上	141 cm 以上	141 cm 以上

- 乗車適応身長は、両足のつま先が地面に着地できる身長を指します。
(☎ 12 ページ 自転車に乗るまえに)
- 寸法や質量などの値は、部品のばらつきや仕様変更により、誤差が生じる場合があります。
- 仕様変更などにより写真、イラストや内容が一部実車と異なる場合があります。
- バッテリーは充放電を繰り返すと徐々に能力が低下し、走行できる距離が短くなります。目安として、700 ~ 900 回の充放電で購入時の約半分になり、使いかたによっては交換が必要になります。
- この車種は、乗員体重を 65 kg で基本設計しています。従って、著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、各部の消耗度合、劣化度合が大きくなります。走行距離も、『標準パターン』に対して短くなります。
※走行条件：環境温度は 20 ± 5 °C、無風の状態で、バッテリーは新品、バッテリーライトは消灯状態、車載重量(乗員と荷物の合計)は 65 kg、路面は乾燥した平滑な路面、タイヤ空気圧は標準空気圧。
※※バッテリー容量の表示値については 50 ページをご覧ください。

●寸法について



使いかた・お手入れ・修理などは **まず、お買い上げの販売店へ** ご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	品番
電話 () -	車体番号
お買い上げ日 年 月 日	キー番号
	防犯登録番号

修理を依頼されるときは

「故障かな?」(56 ~ 58 ページ) でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- 製品名 電動アシスト自転車
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、

- ※保証対象かどうか(無償修理か有償修理か)は、お買い上げの販売店で自転車と品質保証書の内容を確認した上で、判断させていただきます。
- ※インターネットなど通信販売、懸賞、贈答品など販売形態にかかわらず、品質保証書に記載の販売店にご相談ください。修理や補修部品の直接販売は弊社では行っていません。
- ※定期点検・整備の料金は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

●保証期間終了後は、有償修理となります。

- ※お買い上げの販売店にご相談ください。
- ※補修用性能部品の保有期間 **8 年**
当社は、この電動アシスト自転車の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、8 年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合も、まず、お買い上げの販売店へ

ご相談ください。
それでも、お困りの場合は次の窓口にご相談ください。
ご使用の回線(ひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

商品に関する、**お客様ご相談窓口** 365日 受付9時~20時

電話 **0120-781-603** (通話無料)
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■上記番号がご利用いただけない場合 (072) 977-1603 (有料ダイヤル)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック サイクルテック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。